

立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」とその意義

真 辺 美 佐

一 本稿の目的

立正大学の熊谷図書館には、法学者・鈴木安蔵（1904-1983）の旧蔵資料が所蔵されている（以下「鈴木安蔵旧蔵資料」と称す）。このことを知る人はほとんどいないのではないだろうか。

鈴木安蔵は、戦前、自由民権運動の研究を開拓した人物であり、私擬憲法を発掘・紹介したほか、「自由民権運動」という歴史用語を一般に広く普及させた人物の一人である¹。また戦後は、民間の学者・評論家からなる「憲法研究会」（1945年11月5日発足）のメンバーとして、「憲法草案要綱」起草に携わった憲法学者としても知られ、近年、この憲法草案が、日本国憲法成立前のGHQ草案作成過程で参照されたとして、注目されている（このことについては後述）²。

このように歴史研究においても憲法研究においても重要な役割を果たした鈴木安蔵の旧蔵資料を、立正大学が所蔵しているのである。それら資料は、鈴木の実家取り壊しに際して1996年8月、ご遺族によって、鈴木最後の奉職先である立正大学（1967年4月から1976年3月まで教養部教授）³に寄贈されたものである。しかしながら、寄贈資料の半数近くが未整理状態であったこともあり（残り半分は後述する通り図書として配架済）、これまでほとんど知られることはなかった。筆者自身はその存在を早稲田大学名誉教授安在邦夫氏（敬称略、以下同様）によりご教示いただいたのだが、2022年4月に筆者が立正大学に着任した縁もあって、整理を志すに至った。整理にあたってはまず立正大学図書館熊谷学術情報課課長島田貴司氏、及び同課勤務堀真紀氏に、本資料の全貌を明らかにしたい旨を懇願し、両氏のご理解・ご協力を得た。その上で、未整理資料一式を筆者の個人研究室にて借用し、授業や会議などの合間に、少しずつ整理作業を行い、目録を作成した。また品川学術情報課課長水上裕子氏、及び同課司書鈴木優未氏からは整理用のダンボールや附箋等をご用意いただくなどのご助力を得た。

本稿の目的は、これまで未紹介であった立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」の全体目録を作成しその内容を紹介するとともに、それら資料の概要と特徴を分析した上で、本資料の意義を考察することにある。手順としては、まず（一）鈴木の関係資料の全容を報告し、（二）そのなかの立正大学が所蔵する未整理分の資料概要と特徴を論じ、（三）最後に本資料の意義を考

察することとしたい。そのことによって、本資料が立正大学の学生・院生・教職員のみならず、一般に広く活用され、諸研究の発展の一助となることを期したい。

なお本論中の引用史料や資料目録は、旧漢字を新漢字に改め、句読点・濁点は適宜筆者が補った。

二 鈴木安蔵関係資料の全容

鈴木安蔵の関係資料は、立正大学が所蔵するもの以外に、(1) 静岡大学附属図書館、(2) 愛知大学名古屋図書館、(3) 埴谷・島尾記念文学資料館、(4) 国立国会図書館憲政資料室、(5) 法政大学大原社会問題研究所の各機関に所蔵されているものが存在する。立正大学所蔵資料が、鈴木関係資料の全体のなかでどのような位置にあり、どのような性格を有するのか、本資料の意義を明確にするためにも、その他の館が所蔵する鈴木関係資料の概要を見ておきたい。

まず(1) 静岡大学附属図書館は、鈴木が1951(昭和26)年12月から1967年3月の定年退官まで同大学文理学部に務めていた関係で、遺族からの寄贈にかかる旧蔵資料19件を所蔵する⁴。そのなかには、鈴木旧蔵の書籍だけではなく、「植木枝盛日記」(写本)13冊、「〔鈴木安蔵書簡〕」(5枚)、「『万国叢話』・『評論新誌』に関するメモ」(1枚)も含まれる。

(2) 愛知大学名古屋図書館は、鈴木が1952年5月から1982年3月の逝去一年前まで、静岡大学・立正大学と兼務して愛知大学に長く務めた関係から、旧蔵資料が遺族より寄贈された。その大半は書籍であり、和書3793冊、洋書336冊に上る。ただし、これらは「鈴木文庫」として別置されてはならず、一般図書館のうちに混配され、閲覧者には鈴木旧蔵書と気付かれることがほとんどない状態であるという⁵。しかしながら、植木枝盛自筆「日本憲法」を筆写した写本や、カナダの外交官E・H・ノーマン(Edgerton Herbert Norman 1909-1957)署名の献呈本『忘れられた思想家—安藤昌益のこと—』上巻(岩波新書、1950年)なども含まれており、単なる旧蔵書籍として看過できないものもある。特に、植木枝盛「日本憲法」の原本は、植木の遺族から高知県立図書館に持ち込まれたが、1945年7月4日の高知空襲により原本が焼失してしまったため、それ以前に作成された写本しか現存していないことから貴重である⁶。

(3) 鈴木生まれ故郷南相馬市にある埴谷・島尾記念文学資料館は、2022年11月時点で96件の関係資料を所蔵している⁷。その多くは鈴木著作であるが、「鈴木家家族写真」「鈴木安蔵相馬中学校時代写真」「鈴木安蔵少年時代写真」などの写真、火野葦平の鈴木安蔵宛葉書や、新藤兼人、新妻三男〔相馬郷土研究者〕などの鈴木宛書簡も所蔵する。

(4) 以上の鈴木個人の旧蔵資料とは性格を異にするが、鈴木が職務上関わった資料を多く含むものとして、国立国会図書館憲政資料室所蔵の「憲政史編纂会収集文書」が存在する。これには、鈴木が「憲政史編纂会」(1937年衆議院内に設置)のメンバーとして調査収集した、維新以来の憲政史関係資料の写本が残されている。これら写本のなかには、原本が戦災等で焼失・紛失したために、現存する貴重な資料があることも知られるが、「植木枝盛関係文書」もその一例である。植木枝盛が遺した日記や原稿などの資料のほとんどは高知空襲で焼失したとされており、それ以前に作られた写本のなかで最も内容が豊富なのが、鈴木たち「憲政史編纂会」メンバーが作成した写本であるとされる⁸。なかでも「日本憲法」の見返しには、「採訪者 鈴木安蔵」と明記されており、鈴木が筆写したことが分かるようになっている⁹。「憲政史編纂会収集文書」の中から鈴木による写本を洗い出す作業は大変な労力を要するが、それでも鈴木による写本が同資料中にあることは特筆して良いであろう。

(5) またこれも鈴木個人の旧蔵資料ではないが、法政大学大原社会問題研究所にも73件の関係資料が所蔵されている¹⁰。その多くは鈴木著作であるが、その他にも原稿「憲法改正政府案に対する意見」¹¹、音声資料「鈴木安蔵氏聞き取り」¹²、「鈴木安蔵氏資料」¹³、大原社会問題研究所宛て鈴木安蔵書簡¹⁴などを所蔵する。

以上のように、鈴木旧蔵資料を含む関係資料は各機関で分散して所蔵されており、特に鈴木が認めた日記やメモ、原稿類や書類などの自筆資料を一定量纏めて所蔵している機関はないことが分かる。しかしながら旧蔵書に関しては、(2) 愛知大学名古屋図書館が膨大に所蔵し、その資料総数は、本稿で紹介する立正大学所蔵資料の総数と単純に比較しても約7倍にのぼっている(第三節参照)。ただし同図書館では、先述したように、鈴木旧蔵書か否かを区別せず閲覧に供し、閲覧者側も鈴木旧蔵書であることに気付くことがほとんどない状況にあるということからも、鈴木旧蔵書とはいえ、ほとんどが書込みのない美本であるという特徴を有する。

他方、立正大学が所蔵する「鈴木安蔵旧蔵資料」は、どのような特徴を有するのか。寄贈を受けた立正大学熊谷図書館によれば、立正大学に寄贈されたものは鈴木が最期まで手許に置いてあったものであるという¹⁵。つまり鈴木が最期まで利用していたものや鈴木にとって比較的利用頻度の高かったものが立正大学に寄贈されたと推察される。それゆえ、後述するように、鈴木による書込みや切り取り、参考のための貼付資料が非常に多いのも本資料の特徴である。そうしたことも、本資料の半数近くが、一般図書館のうちに配架されずに、未整理状態のまま残った理由である。一方、半数近くの書込みのない図書については、すでに整理済みで一般図書

のうちに配架されている。ただし、立正大学図書館のOPACでも「熊谷：保存書庫：3 F 鈴木安蔵」と区別されて、別置されている。

三 立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」の概要と特徴

立正大学が所蔵する「鈴木安蔵旧蔵資料」の全体は、下記の通り【別表1】と【別表2】からなる。

【別表1】 未整理資料 256件

【別表2】 整理済み・配架資料 315件

資料の全体総数は、【別表1】と【別表2】の件数を単純に加算すれば571件であるが、【別表1】は、同じ資料が複数ある場合に「1件」として数えているものがあるのに対し、【別表2】は、同じ資料が複数あっても別々に数えているため、571件とは若干の誤差が生じる。よって、【別表2】のカウント方式に合わせて、【別表1】を再カウントすると【別表1】は281件となり、資料の全体総数596件となる。

そのうち筆者が整理した資料目録は【別表1】で、その凡例は下記の通りである。

- 一 「箱番号」欄は、図書館から筆者の研究室に送られてきたダンボールの番号で、全部で五箱からなる。
- 二 「整理番号」欄は、原則として、資料が纏めてあったダンボール内の上から一塊ごとに順番に整理して付した番号である。
- 三 「資料名」欄は、それぞれの資料にタイトルを付したものである。なお書籍の場合は書籍名を、雑誌の場合は雑誌名をそのまま記載した。
- 四 「発行者」欄は、出版物が多いために設けた欄であるが、該当しない資料は空欄とした。
- 五 「年」「月」「日」の欄は、資料情報から分かるものは可能な限り全て記述した。
- 六 資料の基本的な情報である「形状」「筆記形態」「頁数」欄も設けて記載した。
なお「筆記形態」は、資料の主たる部分の書かれ方の記載を優先し、例えば印刷資料中に赤鉛筆の書込みがある場合などの付加的情報は「概要」欄に記載した。
- 七 「概要」欄には、上記「資料名」「発行者」「年」「月」「日」「形状」「筆記形態」「頁数」欄に収まらない資料情報を記載した。

八 筆者が推測や補足などで記述したものについては〔 〕を付した。

九 旧漢字はすべて常用漢字に改めた。

【別表1】の資料内容を大別すると次の通りである。

(一) 書籍	123件 (うち、鈴木著作35件)
(二) 雑誌	64件 (うち、鈴木著作所収雑誌37件)
(三) 出版物以外の冊子	6件 (うち、鈴木著作5件)
(四) 小冊子	44件 (うち、鈴木著作18件)
〔重複分を合わせると70件〕	
(五) 原稿類	5件
(六) 書翰	5件
(七) 日記	4件
(八) その他 (ビラ・メモ)	5件

一方、すでに図書館で整理済み・配架資料【別表2】の内容を大別すると次の通りとなる。

(一) 書籍	308件 (うち、鈴木単著113件)
(二) 雑誌	1件 (鈴木著作所収)
(三) 出版物以外の冊子	6件 (うち、鈴木講義案4件、鈴木著作1件)

以上を総合すると、本資料は、書籍が431件、雑誌65件と、出版物が圧倒的に多いことが分かる。出版物以外でも冊子10件、小冊子44件と印刷物が相当数含まれる。

なかでも未整理資料【別表1】のなかの(一)書籍には、次のように大きく分けて8点の特徴が挙げられる。

(1) 書籍総数の約1/4は鈴木著作であるが、それらの中には①「著者校訂本」が含まれ¹⁶、鈴木による多数の加除修正の書込みが見られること、②表紙見返しなどに著作に関する鈴木意図や所感を書き付けているものがあること¹⁷、③著作の用途(例えば「昭和卅七年度講義」¹⁸、「新稿作成のため削除用に用う」¹⁹、「切抜本」²⁰)の分かるものがあること、④著作に関する関係資料やメモが貼付されたり、挟み込まれたりしていること²¹、⑤著書を書評した新聞・雑誌

記事の切抜きが貼付されていること²²、⑥著書惠贈に対する礼状が貼付されていること²³、⑦出版後にも赤鉛筆や青鉛筆、黒ペン・赤ペンで、傍線や修正などの書込みがあること²⁴である。

また鈴木著書以外については、(2) 献呈本であることが分かるもの²⁵、(3) 書籍の入手経緯や日付が記されているもの²⁶、(4) 書籍に関する関係資料が挟み込まれているもの²⁷が含まれ、(5) 赤鉛筆や青鉛筆、黒ペン・赤ペンで、傍線や修正などの書込みが多く、書込みのない書籍の方が少ないこと²⁸が特徴に挙げられる。さらに(6) 佐佐木惣一・滝川幸辰・吾妻光俊・鈴木安蔵・末川博『憲法と新法律の研究』(同友社、1948年)の中の鈴木寄稿部分「教育基本法とその諸問題」(53～96頁)が切り取られているように、分担執筆の鈴木著作部分だけ切り取られている資料があることにも注目される²⁹。これは鈴木が手許で参照資料とするために切り取ったのであろうか。いずれにしろ、鈴木著作部分を切り取った跡が見られるのは、後述するように(二)雑誌の中にも見られる。

さらに(7) 洋書が29件含まれ、そのうちドイツ語で書かれた書籍22件、英語で書かれた書籍7件で、その多くに精読の跡が見受けられるのも特徴として挙げられる。またドイツ語書籍が多いのは、マルクス(Karl Marx 1818-1883)やエンゲルス(Friedrich Engels 1820-1895)の著作が多いからであるが、レーニン(Владимир Ильич Ленин 1870-1924)やルソー(Jean-Jacques Rousseau 1712-1778)の著作もドイツ語で読んでいることが窺える³⁰。

(8) 出版年の特徴としては、戦前の書籍74件(うち鈴木著書12件)、戦後の書籍49件(うち鈴木著書20件)と戦前の書籍が多く、なかでも戦前の読書用書籍は戦後より約2倍所蔵していることである。

次に【別表1】のなかの(二)雑誌の特徴を見ていきたい。その特徴として次の5点が挙げられる。(1) 全64件の雑誌のうち半分以上(36件)に鈴木著作が含まれていることである。ただし、そのうち7件は、鈴木著作部分だけが切り抜かれている³¹。これらは、「明治政治史研究文献」「日本憲法史研究文献」³²や「明治初年に於ける丸善出版の政治文献」³³、「共栄圏文化指導の方策」³⁴などであり、鈴木自身が直ぐに手許で参照するために切り取ったか、あるいは他に献呈または頒布するためだったのではないかと推察される。また出版後に文字訂正の書込みがなされているのも特徴の一つとして挙げられよう³⁵。

さらに、(2) 傍線や傍点、メモなどの書込みが多いこと、(3) 雑誌に関連する関係新聞記事の挟み込みがあること³⁶、(4) 鈴木への献呈雑誌もあること³⁷、(5) 「栗原」「Y.Kurihara」と表紙に書かれた雑誌が3件あり³⁸(書籍の中にも「栗原蔵書」と記載しているものあり³⁹)、「栗原」から貰い受けたか、あるいは借用したかと考えられるものが含まれていることである。

「Y.Kurihara」は、1927年6月に鈴木と結婚した栗原俊子の兄栗原佑を指す。栗原佑は、仙台にあった第二高等学校の一学年下の同窓生で、鈴木がドイツ哲学に傾倒するきっかけを与えた人物でもある。「栗原」「Y.Kurihara」の両方の書込みがいずれも政治批判社の『政治雑誌』に書き込まれていることから、「栗原」「栗原蔵書」とあるものも、栗原佑の蔵書であったと推測される。

続いて【別表1】のなかの(三) 出版物以外の冊子についての特徴を見ていきたい。全6件のうち5件は鈴木のものである。そのうち3件は、「憲法講義案」であり⁴⁰、そのなかで1953年に印刷されたものは、静岡大学、愛知大学、東京学芸大学などの学生のために鈴木が作成した講義案である⁴¹。鈴木のも著書『憲法概論』（勁草書房、1953年）を読んでいない（あるいは読むレベルに至らない）学生が、鈴木の講義を理解したり、予復習したりするため、最低限これだけは必要と考えた内容を説明したものであると序言に述べている。また本講義案には、講義で省略したと思われる箇所に「省略」と赤鉛筆での書込みもなされており、鈴木の授業内容も窺えるものとなっている。また鈴木著作5件のうちの2件は、「憲法の歴史的研究」初版校正刷⁴²と鈴木のも54頁にわたる論文「公安条例と日本国憲法」抜刷⁴³である（「憲法の歴史的研究」については次節参照）。残り1件は、鈴木のも門下生金子勝氏（立正大学名誉教授）のも58頁にわたる論文「論説 鈴木憲法学の研究（Ⅱ）－マルクス主義への道－」抜刷である⁴⁴。

また【別表1】のなかの(四) 小冊子については、次のような4点の特徴が挙げられる。(1) 全44件のうち18件と半分弱が鈴木のも著作であり、そのうち鈴木が初めて治安維持法違反で検挙された事件「日本学生社会科学連合会事件（学連事件）」に関する論稿が5件含まれ⁴⁵、そのうち4件は『現代と思想』35～38（1979年）に4回にわたり寄稿した連載論文「学連事件－精神的回想」で、それら抜刷は同じものがそれぞれ複数残されている⁴⁶。しかもこの論文の元になった原稿用紙も全て、(五) 原稿類のなかに残されており、立正大学の「鈴木安蔵旧蔵資料」が鈴木の手許に最期まであったことを考えると、学連事件が、鈴木自身の政治学・憲法学を考える上で無視しえない重要な意味をなすものであると鈴木が考えていた証左になるのではないか。鈴木が処女作『憲法の歴史的研究』を出版するのは、この事件により禁錮二年の刑を経てのちのことである。

そのほか小冊子の中には「著者校訂本」もあり⁴⁷、多数の書込みが見られるのも特徴であろう。さらに(2) 欧文小冊子が14件（ドイツ語で書かれた小冊子7件、英語で書かれた小冊子7件）残されており、なかでもレーニンの著作が8件（ドイツ語で書かれた小冊子4件、英語で書かれた小冊子4件）と多いのも特徴として挙げられる。また(3) 鈴木のも著書に対する書

評⁴⁸や、(4) 献呈された抜刷⁴⁹も残されている点も特徴である。

次に(五) 原稿類であるが、全5件と多くは残されていない。なお、原稿用紙に書かれているものの、文献の覚書⁵⁰や国会法改正の注意点に関する覚書⁵¹については、(八) その他(ピラ・メモ)に分類し、ここでは鈴木著作の原稿に当たるものだけをカウントした。そのなかで纏まって残っているのは、先に述べたように、4回にわたって連載した「学連事件－精神的回想」の原稿である⁵²。残りの1件は、「静岡大学法経学会」と印字された200字詰原稿用紙に「改憲問題の前提諸問題」について認めた原稿⁵³である。これは、『産業と科学』14(1964年3月)所載の論文であるが、後に『憲法の理論－改憲問題の解明－』(勁草書房、1965年)に所収されたものである。本件資料は、表紙の原稿用紙に「勁草書房原稿用紙」と印字された200字詰原稿用紙が使用されていることから、勁草書房に向けての原稿であることが分かる。また原稿に加除修正の書込みがなされている点も特徴である。

(六) 書翰は5件と多く残されているわけではない。いずれもプライベートなものではなく、自著の出版に関連して出版社⁵⁴や法学者⁵⁵などから受信した書翰のみという特徴を有する。

そして本資料において何よりも重要なものとして、(七) 日記がある。日記の詳細な分析は別稿を期したいと考えているが、ここでは概要とその特徴を述べておきたい。立正大学では本稿執筆時点(2022年11月時点)で、「日記」を4冊所蔵している。その内訳は下記の通りである。

- (1) 1947年10月2日から昭和24年9月16日まで 【別表1】 整理番号182
- (2) 1951年1月1日から同年12月31日まで 【別表1】 整理番号183
- (3) 1955年12月30日から1957年2月1日まで 【別表1】 整理番号184
- (4) 1957年2月2日から1958年4月1日まで 【別表1】 整理番号185

本資料の「日記」の(2)の表紙には赤鉛筆で「⑤」、(3)の表紙には同じく赤鉛筆で「⑪一九五五—五六 昭卅年、卅一年」、(4)の表紙にも赤鉛筆で「⑫ 一九五七 昭卅二」と書き付けられている。また(3)の表紙には青鉛筆で「①②号はりち子の所にあるという 俊子二九—六〇号読了(八九年二月三日)」との書込みがなされ、(4)日記の中には、日記表紙に書き付けられたのと同じ筆跡で赤鉛筆のメモ用紙が挟まれてあり、その中には「①②号はりち子の手許にあり、③号は ④—②⑨—⑥⑩号俊子(俊子1989年3月)読」とある。

この赤鉛筆・青鉛筆はいつの時点で誰が記したのであろうか。少なくとも(3)の表紙に書き付けられた青鉛筆のメモと、(4)に挟まれていたメモが書かれたのは、鈴木がすでに他界

した後の1989年以降のことである。鈴木の子を整理するなかでメモされたのではないだろうか。メモの中の「りち子」は、鈴木安蔵の長女鹿島理智子氏のことであり、「俊子」は鈴木安蔵夫人を指す。立正大学に本資料が寄贈された時点では、理智子氏が本資料にかかるご遺族代表を務められていた。しかしながらすでに他界され、現在は理智子氏の長女大久保直子氏が本資料にかかる代表を務められている。

以上の青鉛筆の書き付けとメモから推測すると、少なくとも日記はもともと60冊存在していたのではないだろうか。少なくとも、立正大学が現在所蔵する日記4冊に赤鉛筆で振られた番号も連番ではなく飛んでおり、そこからもそれ以外のものがあったことが推測できる。

筆者は、その他の日記の行方について、理智子氏長女の久保直子氏、理智子氏長男（久保直子氏の令弟）の鹿島徹氏（現・早稲田大学文学学術院教授）、久保氏を通じて鈴木安蔵の次女川井耿子氏の長男信矢氏、鈴木安蔵の三女高木露子氏の次男真史氏にお尋ねして、ご協力を仰いだ。ご遺族の方々のご多忙のなか、とても懇切にご対応くださったが、しかしながら残念なことに、結局、その他の日記の行方は現時点では不明となっている。

いずれにしても鈴木氏の「日記」の特徴として挙げられるのは、プライベートな記述は少なく、日々の著作執筆や仕事内容、それらに対する考えの記述が大半であるという点である。つまり鈴木にとって著作や仕事を振り返るための備忘録としての役割、思想の跡を辿るための役割を果たしていたのではないだろうか。そのためか、叙述は端的ながらも、後の著作や仕事に役立てられるよう、その日に何をしたのか、誰と会い、どのような話し合いを行ったのかなど、丹念に記録されている点にも特徴が見出される。

四 立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」の意義

最後に本資料の意義について考察していく。ただし紙幅の都合上、（一）「日記」、（二）処女作『憲法の歴史的研究』、（三）河上肇との交流関係の三点に絞って考察を行いたい。

（一）諸分野での研究発展の可能性のある「日記」

本資料のなかで第一級の歴史的価値を有するものは「日記」（【別表1】整理番号182～185）である。そもそも鈴木が、「日記」を小まめに付けていたことはよく知られている。というのは、鈴木氏の著作や講演録などの中で「日記」を引用しながら発表している部分が多々見受けら

れるからである。

現在、立正大学が所蔵している日記は、戦後の4冊のみであるが、鈴木 of 著作によれば、戦前も日記を認めていたことが分かる。例えば、「憲法史研究会その他」の文章の中で、次のように述べている。

さて昭和十六年の日記帳をひもといてみると、一月八日の個所に、「伊東伯〔伊東治正のこと一筆者〕よりの使いに起こさる。十一時同邸へゆく。憲法研究会創立の議まとまる。尾佐竹先生邸へゆき先生を案内し来り、同伯等と共に夜半まで懇談」とある。そして翌九日、わたくしは「憲法研究会創立趣意書、案内状を草し尾佐竹先生、伊東伯に送附」した。こえて一月十九日、華族会館で創立準備会を開き、趣意書、会則を議決して、会の創立が決定したのであった。

原案では憲法研究会であったが、この最初の会合の結果、憲法史研究会とすることに決まった。〔中略〕

いま当時の日記に残っている記録をみると、憲法史研究会創立の前年、すなわち昭和十五年五月七日に伊東伯からの依頼で、同家文書の目録作成にとりかかったようである。〔中略〕

十六年の一月十日夜、わたくしの起草した創立趣意書にもとづいて、伊東伯と語っている。別しての記憶はないが、日記には「伊東伯を訪い、憲法研究会の具体案を練る。大分大規模な、且つ政治的な会にしたい意向らしい。自分は研究会として考えていたのだが、そうしたものにする伊東伯の熱意ならば、それも一案」とある。さらに十四日、憲政史編纂会一霞ヶ関の旧衆議院書記官長官舎跡にあった一に伊東伯が来訪、深谷〔博治一筆者〕氏と三人で、創立すべき新しい会について語った。この日はノーマン氏も来訪、また津田真道男爵の曾孫も来訪とつづき大分疲れたが、急ぐので、同夜伊東伯邸にゆき夜半まで会発足について最後の準備をしたと日記にある。⁵⁶〔下線筆者〕

以上の記述は、鈴木がこの文章を書いている時点で、1940年、1941年の日記があったことを示している。

その他にも、鈴木は「憲法研究会の憲法草案起草」の文章の中で、次のように述べており、立正大学が所蔵する年次以外の戦後の日記が存在していたことが分かる。

〔1945年〕十月二日には、わたくしは「憲法改正の原稿を書く」と日記にしるしている。

すでに敗戦後の日本の再建が、したがって明治憲法の検討が問題となったことを示す。また、いちはやくおこなったハーバート・ノーマン氏との会談によって、これについていくつかの示唆をうけたことも思いおこす。〔中略〕

ついで十月十二日の日記には、「憲法改正の諸問題をまとむ」とするしてある。〔中略〕

十月十三日（土）の日記に「今朝の新聞一斉に、天皇が憲法改正を発案せるを伝ふ」とするしてある。⁵⁷〔下線筆者〕

この戦後における鈴木とノーマンの会談については、古関彰一氏が鈴木にインタビューを行っており、その著書『日本国憲法の誕生』の中で、「〔インタビュー〕当日鈴木教授は日記を見ながら話された」⁵⁸と証言している。このことから、1945年の日記が確実に存在していたことが分かる。

その内容は、鈴木の間接だけでなく、周りの動静や意向も窺えるものとなっており、文字通り、歴史の重要な証言史料なのである。

例えば本資料中の「日記」も同様で、誰とどのような理由で会ったかなど日々の動静を綴る一方で、日々の執筆、著作に関する所感、自身の取るべき道や決意など思索の跡が窺えるものとなっている。なお本資料の「日記」については別稿で検討するため、ここではごく一部の例を軽く紹介するに留めるが、日本国憲法施行から一年後の1948年5月3日には次のような記述が見られ、注目される。

〔前略〕憲法一周年—人民大衆の生活・思想と遊離した憲法は、その記念行事もまた、遊離した官僚や政治家だけの行事に終る⁵⁹。

このような短文からも、鈴木が「日本国憲法」成文に満足しているわけではなく、その行事に対しても苦々しく思っていることが窺えるのである。

それより前の1947年12月31日、その年の年末には長めに翌年に向けての決意や思いなどが認められているが、その冒頭部分は次のような記述から始まる。

子らを相手に階下の掃除、書斎の掃除で昼になる。郵便局で受とった「女性改造」の稿料は、そのまゝ子らえのお正月のプレゼント。

ピース、光をもとめて自分の年越しのたのしみもとのう。風呂焚き、落葉掃除など、

い、加減きりあげる。日本の家庭の雑用は、無限に煩雑だ。少しでも知的要求をみたそうと志す女性にとっては堪えがたい奴隷労働だと言わねばならない。〔後略〕⁶⁰

このような年末の家内大掃除といったありふれた一場面に鈴木ของ考えが散りばめられているのも、「日記」の特徴なのである。このような「日記」を精到に分析することは、鈴木の理想とする憲法や法を歴史的な脈のなかで把握し、鈴木の憲法学や政治学を深めることに繋がると考える。今日、「憲法草案要綱」は、護憲派からも改憲派からも注目される余り、同時代の文脈や鈴木の意図から離れて、断章取義に取り上げられている面があるのを筆者は危惧している。このことの詳細な分析は別稿に譲るが、歴史的な脈のなかで着実な実証研究を行うためにも、「日記」は有意義な資料である。

とはいえ、前節で述べたように、欠けている年次があるのも事実である。とりわけ、日本国憲法制定過程における憲法研究会発足前後の動向を確認するためには、1945年・1946年の日記の発見が待たれる。これに関して、近年、中野昌宏氏がその論文「E・H・ノーマン＝鈴木安蔵の戦後初会談—その意義と事実関係について—」⁶¹の中で、ブリティッシュ・コロンビア大学（UBC）所蔵図書館貴重書・特別コレクション（RBSC）所蔵のノーマンの日記と一橋大学経済研究所資料室所蔵の都留重人の日記をもとに、戦後の鈴木とノーマンの会談日が「1945年9月23日」であるとの新説を提唱している。従来、鈴木の日記を元に鈴木にインタビューをしたという古関彰一氏の「1945年9月22日」説や、『ハーバート・ノーマン全集』の編纂にも携わった大窪愿二氏の「1945年9月25日」説が存在していた。また会談日の様子も異なって伝えられていた。筆者は、中野氏の所説が正しいと考えるが、1945年の鈴木が日記が発見されるならば、会談の事実を照合する上で、重要な手がかりとなるのは間違いない。さらに、その日記は戦前・戦後を通じて、鈴木とノーマンとの関係を知る上でも重要な資料となるであろう。いずれにしろ、鈴木が憲法学・政治学だけではなく、戦前の明治文化研究会、憲法史研究会、憲政史編纂会、戦後の憲法研究会を明らかにする上でも、現在、立正大学が所蔵するもの以外にも、さらなる日記の発見が待たれる。

（二）処女作『憲法の歴史的研究』の出版法制史研究の可能性

本資料中には、鈴木の処女作となる『憲法の歴史的研究』（大畑書店、1933年）の初版本が、整理済み・配架資料【別表2】整理番号48（①）にあり、すでに一般図書館のうちに配架されて

いる。他方、未整理資料【別表1】の中に、別タイプの同書が3件残されている点に注目される。

大畑書店から出版された同書について鈴木自身、「理論的批判が少しでも出ると待ちかまえていたように発売禁止処分になるだろうと考え、歴史叙述の内容を主とすれば幾分安全かと判断した」⁶²と述べているように、歴史叙述の内容を主とした著作である。それでも、検閲官から問題視されるであろう語句に、鈴木自らが××の伏せ字記号を施して出版した。これが今日でも一般に流布している書籍で、【別表2】整理番号48(①)に当たる。

では具体的にどのような語句を伏せ字にしたのであろうか。逆に言えば、鈴木はどのような語句が検閲官から問題視されると考えていたのであろうか。このことについて具体的に分かる資料が【別表1】整理番号130の資料(②)なのである。この資料には、鈴木が伏せ字にした部分に当てはまる語句が青ペンで諸処に書き入れられている。書き入れられた語句は「国家権力」「君主」「支配階級」「労働者階級」「革命」「変革」「(従来の)憲法」(括弧内は伏せ字ではない部分)などで、それら語句を伏せ字の対象としていたことが窺える。しかしながら書物のなかでそれら語句を一律に全て伏せ字にしていたわけではないことも、この資料からは窺える。例えば、同書「第一篇フランス諸憲法およびプロシア旧憲法の歴史的分析」中の「第二章フランス諸憲法」の冒頭部分で、「こゝで我々は、最も純粋な××的民主主義××の法的要約たるフランス革命諸憲法を検討したい。」(同書13頁)と、伏せ字記号を施しているが、最初の伏せ字記号は「変革」、後の伏せ字記号には「革命」が入る。つまり、歴史的事実の「革命」「憲法」は伏せ字にせず、鈴木の評価が加わった語句—ここでは「革命」「変革」の語句にのみ伏せ字記号を施していることが分かる。

ただし鈴木は伏せ字に当てはまる語句のすべてをこの資料に書き入れているわけではないため、【別表2】整理番号48の資料(①)と同様、伏せ字記号がそのまま残っている部分もあり、全ての伏せ字語句が分かるわけではないという難点を有する。しかし「鈴木安蔵旧蔵資料」中には、伏せ字記号のない状態の印刷物【別表1】整理番号109の資料(③)も残されている。これは、初版校正刷で、原稿がそのまま印刷されたものであるため、伏せ字部分が一切ない。つまり、①伏せ字のある書籍(【別表2】整理番号48)、②伏せ字語句を書き入れた資料(【別表1】整理番号130)、③伏せ字のない印刷物(【別表1】整理番号109)という、性格の異なる3種の本が揃っており、どのような語句を伏せ字にしたのかを対照することも可能であり、当時の出版された形のままで読むことも可能なのである。

さらに②【別表1】整理番号130の資料と③【別表1】整理番号109の資料には鈴木の加筆修正部分が見られ、鈴木の著作の意図が窺えるものとなっている。例えば、②には、伏せ字にし

た語句を書き入れているだけでなく、下記のように加筆もされている。なお下記引用箇所【 】内は鈴木に加筆部分である。

前立憲主義時代にあつては、この時代の政治制度そのもの、本質からして、軍隊は、言ふまでもなく、国王に直属し【、国王権力の本質的構成部分をなし】てゐる。しかしながら、旧来〔「旧来」に取り消し線を引き、【かゝる国王】と書き改めている〕の無制限的統治を××【制限】せんとする立憲主義本来の要求から言へば、この×××【統帥権】も、当然に、議会の統制下に入るべきであつて、もしも、この×××〔「この×××」の部分【執行権力の最強力な物質的基礎たる統帥権】と書き改めている〕に対して、何らの統制もしくは制限も確立されないとすれば、かゝる立憲主義は、極めて無内容な外見的なものとならざるをえないのである。(16頁)

このように鈴木は苦心して伏せ字を施したものの、結局、同書は即日発禁処分となった。翌年の1934年、改めて叢文閣から出版したが、これは、大畑書店のもの以上に多くの伏せ字を施して出版することとなった。【別表1】整理番号114の資料(④)は叢文閣から出版されたものである。同資料の表紙見返しには「著者校訂本」とペンで書込みがなされているものの、資料中に書込みは見られない。例えば、前述の引用部分は下記のような形で出版された。このことから、当時の検閲がいかにか厳格であったか、その一端が窺えよう。

××××××にあつては、この時代の政治制度そのもの、本質からして、××は、言ふまでもなく、××に××してゐる。しかしながら、旧来の×××的統治を××せんとする立憲主義本来の要求から言へば、この×××も、×××、×××××に入るべきであつて、もしも、この×××に対して、×××××もしくは××も××××××××××、かゝる××××は、××××××××××なものとならざるをえないのである。(16頁)

戦前の内務省の検閲と戦後のGHQの検閲研究を比較した場合、戦前の内務省の検閲研究の方が、資料がまとまってあるわけではないため後れており、戦前の出版検閲に関して分からないことが多いとの指摘がある⁶³。そのようななか、ここで紹介した資料群は、内務省の検閲資料ではないものの、戦前期の出版検閲を始めとする出版法制史を研究する上で、貴重な材料を提供しているといえることができる。

(三) 交流関係を通じて鈴木的活動や思想の研究の可能性—河上肇との交流を例に—

本資料の意義の一つは、書籍に書込みがあったり、日記が残されたりしているからこそ、鈴木との交流関係が精確に分かり、鈴木との交流関係を通じて、鈴木の活動や思想を考察する上で貴重な材料を提供しているという点にある。ここでは、書籍の書込みを通じて、河上肇との交流を一例として取り上げたい。

【別表1】整理番号81の書籍、佐佐木信綱『万葉集選訳』（明治書院、1918年）の表紙見返し右頁には、次のようなペンの書込みが見られる。

一九三九年（昭和十四年）二月十九日夕

本書は私が始めて万葉集に興味を抱いた際畏敬する大塚金之助兄に問合せしところ、同兄よりこれが最も良き参考書なりとて贈られたもの。小菅において受取り、やがて河上先生が歌に親しみ、万葉集を研究したいと言はれしを伝聞し、先生へ御差入れを河上夫人に托して獄中にて閲読し頂きたるなり。

今先生より返送されしを見て、感慨あり、一言記して書架に蔵す。楝花落画山房にて 風藤山人

すなわち、この資料＝佐佐木信綱『万葉集選訳』は、鈴木が大塚金之助から贈られた書籍で、しかも河上肇がいわゆる新生共産党事件で収監されていた折に⁶⁴、鈴木が差し入れ、1939年2月19日に返送されたものであるということが分かる。またこの書込みから、鈴木が『万葉集』に関心を抱いていたこと、大塚金之助との交流があったこと、河上肇が『万葉集』の研究を行おうとしていたことなども窺える。しかも書き込みの文章—「閲読し頂きたるなり。」「先生より返送されしを見て、感慨あり、一言記して書架に蔵す。」—から、鈴木の河上肇に対する畏敬の念が並々ならぬものであったことも窺えるのである。さらに鈴木は河上を敬慕する余り、本書の表紙見返し左頁には、河上が鈴木に返送した際の小包の住所記載部分まで切り取って丁寧に貼付している。河上から送られたもの全てを宝物のように大事にしている鈴木の様子も窺える。

上記・整理番号81の関連資料も残されている。【別表1】整理番号97の書籍、斎藤茂吉『万葉秀歌』上巻（岩波書店（新書）、1939年）である。この資料の表紙見返しには、次のようなペン書きが見られる。

すでに此本を買ひ求めたる後同じ本を鈴木君の送り越されたればその由を申送りしに然らば自蔵のものに歌など書き入れて送り返せと言はるるまゝに

多度利津伎布里加弊理美那礼者山川遠古依天波越而来達留毛野香那

世遠忘礼世仁和寿羅礼志門野戸遠多々久波誰曾矢古乃由布月夜

昭和己卯春三月十九日 河上肇

ペン書きは河上肇である。つまり、河上がすでに購入していた本と同じものが鈴木から送られたため、それを返送する際、鈴木に求められるまま、万葉歌を認めたというのである。

鈴木がこれほどまで敬慕する河上との学術上の交流はいつからなのか。その最初期を示す資料も残されている。【別表1】整理番号94である。これは、鈴木が「大川権三」の名で執筆した論文「労働組合論」を取めた書籍、河上肇・大山郁夫監修・政治批判社編輯『マルクス主義講座Ⅹ』（マルクス主義講座刊行会、1928年）であるが、鈴木は本書内の「大川権三」の名前を黒ペンで取り消し「鈴木安蔵」と書き改め、その横に「ともかく纏まった論著として自分が書き上げたのはこれが最初であらう 昭和十六年七月十日記」と感慨を込めて書き綴っている。つまり鈴木にとって初めて纏まって発表したものが、河上らの編著に収められているのである。

鈴木旧蔵資料の中には、河上の著作や関係文献も残されている⁶⁵。鈴木自身、河上について述べた論文「偉大なるヒューマニスト河上肇博士」⁶⁶も発表しており、これも本資料に入っている。

このように「鈴木安蔵旧蔵資料」は、鈴木著作だけからでは見えて来ない交流関係など、鈴木活動や思想を考証する上で貴重な材料を提供する有意義な資料といえる。

五 結語

以上、本稿では、まず鈴木安蔵の関係資料が、全国の機関にどのような形で所蔵されているのか、その全容を報告した。ついでそのなかで立正大学が所蔵する「鈴木安蔵旧蔵資料」の全体を報告した。すなわち、その約半数は、整理済み・配架資料であったが、残り半数は未整理状態であったからである。その未整理分は、筆者なりに整理した資料目録をすべて報告し、その概要と特徴を論じた。最後に、未整理資料を中心に、本資料の意義について考察を試みた。

結果、本資料の意義として以下の三点を挙げ、明らかにした。第一に、本資料の中で最も注目される資料は「日記」であること、それは鈴木著作や仕事に関する事実が端的ながらもし

っかりと記録されており、それゆえに鈴木が後に自身の著作や講演などで参照に耐えうる材料ともなったことである。第二に、戦前期に出版された処女作『憲法の歴史的研究』は、現在では、検閲を回避するために施した伏せ字記号のあるものが流布しているが、本資料中には、伏せ字記号のない初版本が残されていることである。しかも、鈴木の手書きのある資料も残されており、出版法制史研究の上で貴重な資料であるということである。第三に、本資料は手書きの書籍や日記などから、鈴木との交流関係がより詳しく分かり、鈴木の手書きだけでは見えて来ない、鈴木の手書きや思想を考証する上で貴重な資料を提供していることである。

以上、本資料の意義を述べてきたが、本資料が諸研究に幅広く活用されることを願って擲筆する。

-
- 1 鈴木安蔵『日本憲政成立史』（学芸社、1933年）、同『憲法の歴史的研究』（大畑書店、1933年）、同『日本憲法学の生誕と発展』（叢文閣、1934年）、同『明治初年の立憲思想』（育生社、1938年）、同『自由民権・憲法発布』（白揚社、1939年）、同編『自由民権運動史』（富山書院、1942年）、同『憲法と自由民権』（永美書房、1946年）、同『自由民権』（白揚社、1948年）など。
 - 2 森英樹『マルクス主義法学の史的研究』（日本評論社、2022年）、金子勝『日本国憲法と鈴木安蔵—日本国憲法の間接的起草者の肖像』（八朔社、2022年）、鈴木安蔵を讃える会編「鈴木家住宅」（南相馬、2020年）、中野昌宏「E・H・ノーマン＝鈴木安蔵の戦後初会談—その意義と事実関係について」（『カナダ研究年報』39、2019年）、柴田哲雄『フクシマ・抵抗者たちの近現代史—平田良衛・岩本忠夫・鈴木安蔵』（彩流者、2018年）など。憲法研究会の「憲法草案要綱」がGHQ草案作成過程で参照されたとする文献は下記の通り。古関彰一『新憲法の誕生』（中央公論社、1989年）、同『日本国憲法の誕生』（岩波現代文庫、2009年）、高柳賢三・大友一郎・田中英夫編著『日本国憲法制定の過程—連合国総司令部側の記録による』全2冊（有斐閣、1972年）、犬丸秀雄編著『日本国憲法制定の経緯—連合国総司令部の憲法文書による』（第一法規、1989年）、佐々木高雄『戦争放棄条項の成立経緯』（成文堂、1997年）、原秀哉『日本国憲法制定の系譜 Ⅲ 戦後日本で』（日本評論社、2006年）、金子勝「憲法研究会『憲法草案要綱』が導いた日本国憲法—虚構の「押し付け憲法」論」（『立正法学論集』41（1）、2007年）、同「日本国憲法の設計図を引いた鈴木安蔵氏—鈴木安蔵氏の「憲法草案」—」（『立正法学論集』40（2）、2007年）、同「日本国憲法の発想—『憲法草案要綱』の構想」（『立正法学論集』42（1）、2008年）、西修『証言でつづる日本国憲法の成立経緯』（海竜社、2019年）などが挙げられる。

- 3 鈴木安蔵先生を偲ぶ会「鈴木安蔵先生の略歴と著作目録」小冊子、「鈴木安蔵旧蔵資料」整理番号110。
このほか、鈴木略歴については、「鈴木安蔵教授の略歴と著作目録」（『憲法調査会総批判（鈴木安蔵教授還暦祝賀論文集）』日本評論社、1964年）、「鈴木安蔵先生の略歴と著作目録」（『日本憲法科学の曙光—鈴木安蔵博士追悼論集—』勁草書房、1987年）、「鈴木安蔵教授略歴・著作目録」（静岡大学法経学会編『法経研究』15(3)、1967年3月）、金子勝「鈴木安蔵教授の略歴と著作目録」（『立正法学』7(16)、1974年3月）があり、本稿で鈴木略歴を記述する際には、これらを参照にした。ただし、愛知大学の奉職期間については、整理番号110資料と「鈴木安蔵先生の略歴と著作目録」（『日本憲法科学の曙光—鈴木安蔵博士追悼論集—』勁草書房、1987年）には、1952年5月から1983年3月まで務めていたことが記載されているが、本稿では、奉職先の愛知大学のご教示に従い、1952年5月から1982年3月までとした。
- 4 静岡大学名誉教授山本義彦氏（現・静岡大学大学文書資料室勤務）、静岡大学附属図書館レファレンス係のご教示による。所蔵資料については、静岡大学附属図書館のOPACで「鈴木安蔵氏資料」のキーワードで検索できる。いずれも地域・特別研究室（書庫5階）で禁帯出ではあるが閲覧に供している。ただし2022年11月時点ではコロナウイルス感染症対策のため、学外者の入館を制限している。
- 5 浅井敦「鈴木安蔵先生と憲法9条」（『愛知大学図書館報 韋編』No.34、2007年11月）。
- 6 植木枝盛「日本憲法」の現存する写本は、①鈴木安蔵旧蔵・愛知大学名古屋図書館毛筆本、②国立国会図書館憲政資料室所蔵ペン書本、③家永三郎蔵呉服孝彦作成鉄筆書本の3種で、なかでも①愛知大学の写本は、鈴木が高知県立図書館に依頼したと考えられ、『植木枝盛集』の底本として使用されている（『植木枝盛集』第六卷、岩波書店、1991年、410～414頁）。
- 7 福島大学図書館、埴谷・鳥尾記念文学資料館からのご教示による。同館に拠れば、ご遺族から寄贈されたもの、購入したもの、献呈されたものなど、資料ごとに収蔵経緯が異なるとのことである。また、東日本大震災前に収蔵されたものもあり、入手経路がよく分からないものも含まれるとのことであった。なお埴谷・鳥尾記念文学資料館では、2017（平成29）年5月3日から7月2日まで、「日本国憲法施行70年鈴木安蔵展」が開催された。
- 8 塩出浩之「植木枝盛」（伊藤隆・季武嘉也編『近現代日本人物情報辞典』吉川弘文館、2004年）。
- 9 『植木枝盛集』第六卷、岩波書店、1991年、412・413頁。なお家永三郎・松永昌三・江村栄一編『明治前期の憲法構想』福村出版、1967年、1987年増訂版第二版）、家永三郎編『明治文学全集12 大井憲太郎・植木枝盛・馬場辰猪・小野梓集』（筑摩書房、1973年）は、国立国会図書館憲政資料室所蔵の鈴木による写本を底本にしている。
- 10 法政大学大原社会問題研究所 <https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/> の資料検索の結果に基づく（2022年11月時点）。
- 11 鈴木茂三郎・徹三旧蔵資料の「鈴木文庫」のなかに収められている。1946年3月9日・12日。なお「鈴

木文庫」は目録を作成中であるとのこと。法政大学大原社会問題研究所オイスター・オルグ OISR.ORG 総合案内「Ⅲ文庫 3. その他の文庫（3）鈴木文庫」<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/about/library/own/bunko-3c/>（2022年11月7日最終閲覧）。

- 12 1981年11月30日。請求記号音声—オーラル—93。
- 13 江村栄一旧蔵自由民権関連資料（B21）、自筆メモ、請求記号929。
- 14 DB名「書簡」、1929年8月31日。
- 15 立正大学図書館熊谷学術情報課課長島田貴司氏が立正大学名誉教授金子勝氏から受けた説明による。
- 16 【別表1】整理番号77、78、91、108、113、114、117、124、131、132の資料。
- 17 【別表1】整理番号77、78、83、90、108、122、134の資料。
- 18 【別表1】整理番号79の資料。
- 19 【別表1】整理番号122の資料。
- 20 【別表1】整理番号125の資料。
- 21 【別表1】整理番号77、83、91、108、115、117、122、128、129、131の資料。
- 22 【別表1】整理番号78、90、108、115、158の資料。
- 23 【別表1】整理番号158の資料。
- 24 【別表1】整理番号91、107、119、121、127、130の資料。
- 25 【別表1】整理番号69、95の資料。
- 26 【別表1】整理番号71、73、85、97、100、101、106、138、147、151、153、173、175、215、239、241、242の資料。
- 27 【別表1】整理番号105の資料。
- 28 書込みのない書籍は、【別表1】整理番号116、120、143、145、155、159、160、166、172、217、226である。
- 29 【別表1】整理番号127の資料。
- 30 【別表1】整理番号223、226、228の資料。
- 31 【別表1】整理番号4、45、50、55、56、59、63の資料。
- 32 『歴史科学』第2巻第6号（1933年8月）、【別表1】整理番号4の資料。
- 33 『学灯』第43巻8月号（1939年8月）、【別表1】整理番号45の資料。
- 34 『政界往来』10月特輯号（第13巻第10号）（1942年10月）、【別表1】整理番号50の資料。
- 35 【別表1】整理番号49、51の資料。
- 36 【別表1】整理番号38の資料。

- 37 【別表1】整理番号54の資料。
- 38 【別表1】整理番号2、5、6の資料。
- 39 【別表1】整理番号146の資料。
- 40 【別表1】整理番号82、126、137の資料。
- 41 【別表1】整理番号126の資料。
- 42 【別表1】整理番号109の資料。
- 43 【別表1】整理番号112の資料。
- 44 立正大学『立正法学』第12巻第1・2号（1979年3月）、【別表1】整理番号196の資料。
- 45 【別表1】整理番号202～205、211の資料。
- 46 【別表1】整理番号202～205の資料。
- 47 【別表1】整理番号89の資料。
- 48 【別表1】整理番号197の資料。
- 49 【別表1】整理番号200、210の資料。
- 50 【別表1】整理番号245、246の資料。
- 51 【別表1】整理番号252の資料。
- 52 【別表1】整理番号253～256の資料。
- 53 【別表1】整理番号251の資料。
- 54 【別表1】整理番号243、248の資料。
- 55 【別表1】整理番号244、249の資料。
- 56 鈴木安蔵『憲法学三十年』（評論社、1970年）158～160頁。
- 57 鈴木安蔵『憲法制定前後—新憲法をめぐる激動期の記録—』（青木現代叢書、1977年）73・74頁。
- 58 古関彰一『日本国憲法の誕生 増補改訂版』（岩波書店、2017年）455頁。
- 59 【別表1】整理番号182の資料。
- 60 【別表1】整理番号182の資料。
- 61 『カナダ研究年報』39、2019年。
- 62 鈴木安蔵『憲法学三十年』（評論社、1970年）51頁。
- 63 山本武利、浅岡邦雄、土屋礼子「対談検閲研究の最前線—戦前と戦後をつなぐ」（『Intelligence』14、2014年3月）中の浅岡邦雄氏の発言。浅岡邦雄・小泉徹「戦前期内務省における出版検閲—禁止処分のいろいろ（講演報告）」（『大学図書館問題研究会』32、2009年8月）も参照。
- 64 「わが国論壇の老闘将 元京大教授遂に捕る 法学博士経済学の権威 某重大事件後消息絶つ」（『東京朝日

新聞』雑報、1933年1月13日)、「元京大経済部教授〇〇〇博士検挙 中野の潜伏先で」(『読売新聞』雑報、1933年1月13日)、「新生共産党大検挙 本日記事解禁 党首脳部を根こそぎ 検挙総数実に一千五百名 全国警察網の大活動」(『東京朝日新聞』雑報、1933年1月18日)、「四年の鉄窓を放たれ 河上博士深夜帰宅す 初孫の寝顔に感無量」(『東京朝日新聞』雑報、1937年6月15日)。

65 【別表1】整理番号14、138、146、151、169の資料。また【別表2】にも、河上肇夫人秀による『留守日記—冬の時代に耐えた妻の記録』(筑摩書房、1967年)が残されている(整理番号257)。

66 『民主文化』3月号(第1巻第3号)、中外出版株式会社、1946年3月10日所収。【別表1】整理番号47、48の資料。

附記 本稿の執筆にあたり、鈴木安蔵の令孫に当たる大久保直子氏・鹿島徹氏(早稲田大学文学学術院教授)・川井信矢氏・高木真史氏の皆様に、また早稲田大学名誉教授安在邦夫氏、町田市立自由民権資料館学芸員松崎稔氏、静岡大学名誉教授山本義彦氏、立正大学図書館熊谷学術情報課課長島田貴司氏、同課勤務堀真紀氏、品川学術情報課課長水上裕子氏、同課司書鈴木優未氏、ならびに静岡大学図書館、愛知大学、福島大学図書館、埴谷・島尾記念文学資料館の関係者の皆様に多大なるご高配を賜りました。さらにドイツ語の筆記体解読に当たっては立正大学文学部史学科准教授森田直子氏よりご助力を賜りました。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。なお本研究は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)課題番号20k00942の助成を受けたものです。

別表1 「鈴木安蔵旧蔵資料」未整理資料

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
1	1	『政治批判』創刊号	政治批判社	昭和2	1927	2	1	雑誌	印刷	76頁	月刊。私文堂東京店発売。月刊。私文堂東京店発売。
1	2	『政治批判』第2号	政治批判社	昭和2	1927	3	13	雑誌	印刷	125頁	表紙左上に「栗原」(栗原佑か)と鉛筆書きあり。小村秀夫「第五十二議会は如何なる予算案を通告にしたか?」に傍線や書込みあり。
1	3	『レファレンス』第48号	国立国会図書館調査立法考査局	昭和30	1955	1	20	雑誌	印刷	224頁	表紙に目次あり。目次の題目「日本の新憲法と樺東委員会」に朱引きあり。当該論説に朱引きや印あり。葉や附箋の扱ひもあり。
1	4	『歴史科学』第2巻第6号	白揚社	昭和8	1933	8	1	雑誌	印刷	112頁	鈴木安蔵著「明治政治研究文獻」「日本憲法史研究文獻」所載部分が分けられている。服部之雄「明治史のための諸文獻」、信夫清三郎「明治外交史文獻」に朱引きあり。
1	5	『政治批判』第3号	政治批判社	昭和2	1927	4	12	雑誌	印刷	142頁	表紙左上に「栗原」(栗原佑か)と鉛筆書きあり。島田文武「学生運動の方向転換」に朱引きあり。
1	6	『政治批判』第4号	政治批判社	昭和2	1927	5	12	雑誌	印刷	66頁	表紙左上に「Y. Kurihara」(栗原佑)とペン書きあり。特別記事「所謂「田中大将事件」の原本資料 清瀬代議士は何故議会で締められたか?」にペンにて傍線、印の書き込みあり。
1	7	『政治批判』第6号	政治批判社	昭和2	1927	7	15	雑誌	印刷	101頁	橋本一政「地租差額に就いて」、堀田匡「預金部資金の運用を論ず一興銀の損失補償契約一」に鉛筆にて傍線・傍点、書込みあり。
1	8	『社会学』第5号	森山書店	昭和8	1933	4	5	雑誌	印刷	173頁	田辺寿利・古野清人共同編輯。森山書店発行。河富雄「古代日本に於ける招婿の問題」に鉛筆にて書込みあり。※当該内に、小高良雄「日本憲法の理論的背景に関するノート」が所載されているが、書込みなし。
1	9	『静岡大学文学部研究報告 社会科学』第4号	静岡大学	昭和30	1955	12	25	雑誌	印刷	172頁	鈴木安蔵「大学における表現の自由」所載。
1	10	『静岡大学文学部研究報告 社会科学』第7号	静岡大学	昭和33	1958	12	20	雑誌	印刷	191頁	鈴木安蔵「公法学における国家概念」所載。
1	11	『静岡大学法経研究』15巻1号(通巻32号)	静岡大学	昭和41	1966	7	20	雑誌	印刷	156頁	『産業と科学』改題。静岡大学法経学会発行。鈴木安蔵著論説「社会国家・福祉国家論の批判」所載。
1	12	『改憲問題の前提諸問題』別刷	静岡大学	昭和39	1964	3		小冊子	印刷	27頁	静岡大学文学部「産業と科学」第14号所載論説。
1	13	静岡大学文理・人文学部同窓会『丘』第3号	静岡大学	昭和57	1982	3	25	雑誌	印刷	46頁	
1	14	『朝日評論』第4巻第9号(通巻43号)	朝日評論社	昭和24	1949	9	1	雑誌	印刷	128頁	大内兵衛・小島祐馬・長谷川如理閑「河上肇と藤田民蔵を語る」に附箋の扱ひあり。
1	15	『治安と人権』No. 40号	治安協会	(昭和43)	(1968)			雑誌	印刷	24頁	鈴木安蔵「人権意識と愛国心」所載。発行年月日の記載はないが、「世界人権宣言採択20周年」の記載より1968年と推定。
1	16	『現代と思想』29	青木書店	昭和52	1977	9	25	雑誌	印刷	282頁	特集「現代社会主義論」。

立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」とその意義

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
1	17	『現代と思想』31	青木書店	昭和53	1978	3	25	雑誌	印刷	240頁	特集「自治体の再生と展望」。
1	18	『現代と思想』35	青木書店	昭和54	1979	3	25	雑誌	印刷	280頁	特集「転換する中国と現代の社会主義」。青木書店発行。鈴木安蔵「学運事件—精神的回想(1)」所載。
1	19	『現代と思想』36	青木書店	昭和54	1979	6	15	雑誌	印刷	260頁	特集「80年代日本の経済」。
1	20	『現代と思想』36	青木書店	昭和54	1979	6	15	雑誌	印刷	260頁	特集「80年代日本の経済」。整理番号19と同雑誌。状態良好。
1	21	『現代と思想』38	青木書店	昭和54	1979	12	15	雑誌	印刷	272頁	特集「私の精神史 ~79—80年代を生きる手がかりとして—」。 青木書店発行。
1	22	『批判』創刊号	協同書房	昭和21	1946	3	5	雑誌	印刷	48頁	鈴木安蔵「日本民主主義の歴史的基礎」所載。
1	23	『法学セミナー』11月号別冊付録 判例ハンドブック(会社法)	日本評論社	昭和57	1982	11	1	雑誌	印刷	127頁	
1	24	『立正大学教養部紀要』第8号	立正大学	昭和49	1974	12	30	雑誌	印刷	184頁	鈴木安蔵「植木枝盛の主権論その他」所載。
1	25	『法学セミナー』276(22巻3号)	日本評論社	昭和53	1978	3	1	雑誌	印刷	160頁	特集「日本の司法書士」。東京学芸大学教授星野安三郎「(書評)鈴木安蔵著『憲法制定前後』」所載。表紙に目次あり。星野安三郎に朱引きあり。
1	26	『法学セミナー』277(22巻4号)	日本評論社	昭和53	1978	4	1	雑誌	印刷	160頁	特集「行政法学の現状と課題」。鈴木安蔵「(彰山日出氏の憲法学の思い出し)」所載。表紙に目次あり。著作題目に朱引きあり。
1	27	『愛知大学法経論集』第28号	愛知大学	昭和34	1959	10	25	雑誌	印刷	221頁	鈴木安蔵「憲法研究会の憲法草案起草および憲法制定会議提唱」所載。
1	28	『愛知大学法経論集』法律篇 第82号	愛知大学	昭和51	1976	10	25	雑誌	印刷	162頁	鈴木安蔵「日本国憲法制定の基本論点」所載。
1	29	『愛知大学法経論集』法律篇 第82号	愛知大学	昭和51	1976	10	25	雑誌	印刷	162頁	鈴木安蔵「日本国憲法制定の基本論点」所載。整理番号28と同雑誌。
1	30	法政大学『法政』第2巻第5号	法政大学	昭和28	1953	4	25	雑誌	印刷	32頁	鈴木安蔵「既に實質的な変更—憲法制定と高野博士—」所載。
1	31	静岡大学法経学会『産業と科学』第2号	静岡大学	昭和33	1958	3	15	雑誌	印刷	82頁	鈴木安蔵「基本的人権と公共の福祉」所載。
1	32	静岡大学法経学会『産業と科学』第3号	静岡大学	昭和33	1958	7	5	雑誌	印刷	86頁	
1	33	静岡大学法経学会『産業と科学』第6号	静岡大学	昭和35	1960	3	15	雑誌	印刷	90頁	
1	34	法政大学法学志林協会『法学志林』第47巻第1号(第535号)	法政大学	昭和24	1949	7	10	雑誌	印刷	116頁	鈴木安蔵「植木枝盛の人民主権論」所載。
1	35	『法律時報』7月号臨時増刊 第32巻第8号通巻366号	日本評論社	昭和35	1960	6	28	雑誌	印刷	464頁	特集「改正刑法準備草案の総合的検討」。
1	36	『法律時報』5月号臨時増刊 第31巻第5号通巻349号	日本評論社	昭和34	1959	4	25	雑誌	印刷	224頁	特集「憲法と裁判官—いわゆる伊藤判決を中心に—」。鈴木安蔵「米軍駐留および特別法違憲判決」所載。

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
1	37	『改造』2月号 第16巻第2号	改造社	昭和9	1934	2	1	雑誌	印刷	353頁	鈴木安蔵「言論自由論の回顧」所載。島田俊雄・長谷川如是閑・富田幸次郎・佐々弘雄・松岡洋右・大森義太郎・中野正剛・山本実彦「政党政治は復活するか」座談会掲載あり。
1	38	恒藤恭・末川博編集「憲法と自衛権」季刊法律学第28号	有斐閣	昭和34	1959	10	10	雑誌	印刷	184頁	鈴木安蔵「日本国憲法と自衛権」所載。「学園新聞」昭和34年10月5日の「条約と憲法の関係」論争点、中村哲「条約は人権を辱しえない」憲法は条約より上位、田岡良一「世界論」が優位の規準、憲法と条約は別個のもの」記事切抜きのみあり。
1	39	『季刊 科学と思想』No.3	新日本出版社	昭和47	1972	1	1	雑誌	印刷	192頁	冬季号。特集「近代日本における国家意識」。巻頭論説「日本における社会科学の成立前後」著者、住谷悦治からの置星。鈴木安蔵が大正14年に逮捕された時の回顧記述あり。その箇所は傍線の書き込みあり。
1	40	『季刊 科学と思想』No.45	新日本出版社	昭和57	1982	7	1	雑誌	印刷	192頁	夏季号。特集「現代世界と平和」。表紙目次中の「平和憲法の論理と思想 鈴木安蔵 比較三原則法案の今日的意義 長谷川正安」に引ききあり。
1	41	『季刊 科学と思想』総目録No.1～No.30 1971.7～1978.10	新日本出版社	(昭和53)	(1978)			雑誌	印刷	24頁	
1	42	日本公法学会『公法研究』第42号	有斐閣	昭和55	1980	10	5	雑誌	印刷	265頁	
1	43	公明党政治理論誌『公明』第142号	公明党	昭和49	1974	5	1	雑誌	印刷	176頁	特集「(一) 狂動物価を迫及する公明党」「(二) 現憲法を考える」。特集(二)の巻頭論説に鈴木安蔵「日本国憲法の基本原理解」所載。
1	44	伊豆公共著『青共文庫第8輯 青年のための世界歴史』	正旗社	昭和21	1946	7	1	雑誌	印刷	62頁	
1	45	『学灯』第43巻8月号	丸善	昭和14	1939	8	20	雑誌	印刷	78頁	鈴木安蔵「明治初年に於ける丸善出版の政治文獻」所載部分が切り抜かれている。
1	46	『明治政治史研究』第1輯	ナウカ社	昭和10	1935	12	10	雑誌	印刷	200頁	特輯「憲法研究」。鈴木安蔵「我が国諸学者の法概念—国家命令説および憲法論議に対する批評—」所載。
1	47	『民主文化』3月号(第1巻第3号)	中外出版株式会社	昭和21	1946	3	10	雑誌	印刷	48頁	鈴木安蔵「偉大なるヒューマニズム—河上肇博士—」所載。
1	48	『民主文化』3月号(第1巻第3号)	中外出版株式会社	昭和21	1946	3	10	雑誌	印刷	48頁	鈴木安蔵「偉大なるヒューマニズム—河上肇博士—」所載。整理番号47と同雑誌。
1	49	『政界往来』12月特輯号(第12巻第12号)	政界往来社	昭和16	1941	12	8	雑誌	印刷	208頁	鈴木安蔵「文化の要因の克服—東条内閣に対する希望—」所載。朱字にて文字訂正書き込みあり。
1	50	『政界往来』10月特輯号(第13巻第10号)	政界往来社	昭和17	1942	10	8	雑誌	印刷	176頁	鈴木安蔵「共栄圏文化指導の方策」所載部分が切り抜かれている。
1	51	『政界往来』4月特輯号(第14巻第4号)	政界往来社	昭和18	1943	4	8	雑誌	印刷	128頁	鈴木安蔵「奉天的國民政治組織の法理」所載。ペン字にて文字訂正書き込みあり。

立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」とその意義

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
1	52	司法研修所「司法研究報告書 第2輯第1号 司法に関する国会の国政調査権の範囲及び限界」	司法研修所	昭和24	1949	5		雑誌	印刷	210頁	表紙に「禁紙」とあり。表紙が外れている。
1	53	『信州白樺』第44・45・46合併号 自由民権運動百年記念特集号	宮坂栄一	昭和56	1981	10	30	雑誌	印刷	456頁	鈴木安蔵「わたしにとっての「自由民権」」所載。
1	54	『書評』第9号	日本出版協会	昭和22	1947	12	1	雑誌	印刷	64頁	『贈呈』の朱印あり。
1	55	『帝国農会報』12月号(第31巻第12号)	帝国農会	昭和16	1941	12	1	雑誌	印刷	144頁	鈴木安蔵「自己控制、官僚統制および自主的國家統制」所載部分が切り抜かれている。帝国農会は系統農会機関。
1	56	『土佐史談』第59号	土佐史談会	昭和12	1937	6	10	雑誌	印刷	170頁	表紙に「光顕遺稿」とあり。鈴木安蔵「左派民権論について」所載部分が切り抜かれている。
1	57	『土佐史談』第158号 自由民権百年記念特集号	土佐史談会	昭和57	1982	1	30	雑誌	印刷	152頁	鈴木安蔵「榎木枝盛の主権論」所載。
1	58	『東亜文化園』8月号(第3巻第8号)	財団法人青年文化協会 東亜文化園社	昭和19	1944	8	1	雑誌	印刷	80頁	鈴木安蔵「支那問題論」所載。文化政策研究雑誌。
1	59	『統制経済』1月号(第2巻第1号)	有斐閣	昭和18	1943	1	1	雑誌	印刷	152頁	鈴木安蔵「新政治体制と日本憲法」所載部分が切り抜かれている。
1	60	『図書』第324号	岩波書店	昭和51	1976	8	1	雑誌	印刷	82頁	斎藤信治「石橋謙先生の想い出」記事に朱鉛筆にて印などの書込みあり。
1	61	『図書』第334号	岩波書店	昭和52	1977	6	1	雑誌	印刷	84頁	
1	62	『歴史科学』12月号(第2巻第10号)	白揚社	昭和8	1933	12	1	雑誌	印刷	84頁	鈴木安蔵「条約改正史文獻その他」所載。
1	63	『歴史日本』7月号(第1巻第1号)	雄山閣	昭和17	1942	7	1	雑誌	印刷	160頁	鈴木安蔵「伊藤博文の生涯」所載部分が切り抜かれている。
1	64	『前衛』No.416	日本共産党 中央委員会	昭和52	1977	10	1	雑誌	印刷	244頁	日本共産党中央委員会理論政治誌。
2	65	レーニン著・堀江邑一訳「国家と革命」	国民文庫社	昭和27	1952	10	25	書籍	印刷	252頁	朱引きなど書込みあり。
2	66	清宮四郎編『憲法(下)』	青林書院	昭和33	1958	3	25	書籍	印刷	424頁	清宮四郎は東北大学教授。
2	67	ソ同厩科学アカデミー哲学研究所コンスタンチン・ソフエフ監修・ソフエフ研究者協会訳『史的唯物論』上巻	大月書店	昭和26	1951	11	30	書籍	印刷	509頁	見返しに「一九五一年十二月二十日」とペン書きあり。赤鉛筆・青鉛筆の傍線、ペンでの書込みあり。
2	68	鈴木安蔵「明治維新政治史」	中央公論社	昭和17	1942	11	20	書籍	印刷	497頁	見返し(表紙裏)に「著者校訂本 十二月十日入手」とペン書きあり。見返し(裏表紙)に12月13日付と12月20日付の「朝日新聞」広告切抜き貼付あり。
2	69	R・トロイマン著、小林孝輔・佐々木高雄訳『モナルコマキー人民主権論の源流』	学陽書房	昭和51	1976	10	15	書籍	印刷	124頁	小林孝輔からの題呈本。扉にペンにて「一九七六年九月廿一日 一廿二日読了」と書込みあり。朱引きあり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
2	70	政治学研究会編『政治学研究第一集』	実業之日本社	昭和23	1948	9	5	書籍	印刷	166頁	表紙に「改訂本」とベン書きあり。第三章は鈴木安蔵著「史的唯物論と政治学」当該箇所には黒ペンにて加除修正等の書込みあり。第一章の藤山政道「社会科学における政治学的地位」にも朱引きや黒ペンにての書込みあり。最後の「政治学研究会趣意書」には赤ペンにて加除修正の書込みあり。
2	71	杉本幹夫『憲法の階級性と普遍性』	日本評論社	昭和50	1975	2	20	書籍	印刷	285頁	見返しに「連絡不十分によりやく本日入手一九七五年六月九日」とペン字にて書込みあり。同書内の「現代民主主義と日本国憲法の歴史的性格―民主主義論からの人権論へのアプローチ―」論に赤鉛筆・青鉛筆にて書込みあり。
2	72	養文館訳『マルクス・エンゲルス農業問題集 1 エンゲルス・ドイツ農民戦争 フランスとドイツにおける農民問題・マルク』	文化評論社	昭和23	1948	2	19	書籍	印刷	203頁	朱引きなど書込みあり。
2	73	朝鮮民主主義人民共和国科学院経済法学部研究所編・在日本朝鮮人科学者協会社会科学部門法政部委訳『朝鮮民主主義人民共和国の国歌・社会体制』	日本評論社	昭和41	1966	4	5	書籍	印刷	238頁	見返しに「五島秋雄君の厚意によりて入手 ようやく読みはじめることができた一九七一年十二月十九日」とペン字にて書込みあり。朱引きなど書込みあり。
2	74	Karl Loewenstein, <i>Political Power and the Governmental Process</i>	Phoenix Books		1965			書籍	印刷	464頁	扉に「一九六七九年九月十四日読みはじめ」とペン字にて書込みあり。赤鉛筆・青鉛筆にて傍線、黒ペンにて「現代の普遍的な社会権 実行、完脱」(326頁)「このような流れで、結局全体につぎき当っている」(333頁)などのペンの書込みあり。
2	75	V.I.Lenin, <i>What the "Friends of the People" Are and How They Fight the Social-Democrats (A Reply to Articles in Russkoye Bogatstvo Opposing the Marxists)</i>	Foreign Languages Publishing House		1946			書籍	印刷	247頁	朱引き、「社会現象についての科学性」「物質的社会関係とは人間の意識を通じて形成される関係である」(以上17頁)「科学的分析-記述および価値判断と区別するべき 科学的社会学の可能」(18頁)などのペンの書込みあり。
2	76	K.C.ウイアー、伊藤正己・小堀憲助訳『現代の憲法』	勁草書房		1954	4	10	書籍	印刷	291頁	朱引きあり。
2	77	鈴木安蔵『日本国憲法概論』	評論社	昭和37	1962	2	25	書籍	印刷	286頁	鈴木安蔵は静岡大学教授・法学博士。見返しに「著者改訂本一九六二年二月四日入手」とペンにて書込みあり。序文頁に「二月四日するす 旧著『憲法』を全部脱落するのが惜しく、ここに示されたままの旧著の情勢、意欲、分析し、それらを反映している表現を、今日残しているものは残しておこうという気持ちで、本書が一応の補正版として出来た。これから兼ねて考えていた新しい憲法学的分析の本を書きたい。」など、そのほか書込み多数。加除修正もあり。新聞貼込みもあり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
2	78	鈴木安蔵「憲法と条約と監留筆」	至誠社	昭和34	1959	4	30	書籍	印刷	257頁	見返し(表表紙)に「著者校訂本一九五九年五月一日」とヘンにて書き込みあり。扉に「昭和三十三年の夏、鑑定書執筆のため苦心して諸学者の論著もよみ、思索もして一応到達したところのものが一〇月の鑑定書であった。それをさらに愛本法経論集に発表するとき、推敲した。今度の判決を機として諸学者の欠所をかえりみつつ、さらに論点をふかく検討することが、つぎの仕事である。」との書き込みあり。43・60・61・69頁等に加除修正、メモあり。「資料」に青鉛筆にて傍線あり。見返し(裏表紙)に田畑茂二郎【(書評)鈴木安蔵著『憲法と条約と監留筆』米軍監留の遺書を示す一読をすめたい本】(『学園新聞』昭和34年6月1日)切抜き貼付あり。【御吹合定合憲(東京高裁、三〇・一〇・三一)書き込みあり。】
2	79	鈴木安蔵「政治学」	青林書院	昭和30	1955	5	25	書籍	印刷	384頁	見返し(表表紙)に「昭和卅七年座談義」と赤鉛筆にて書き込みあり。奥付頁に「一九六〇年一月廿八日」と赤鉛筆にて書き込みあり。赤鉛筆・青鉛筆にて傍線、「政治学」などという通称的意味の用語論の分析(120頁)などの書き込みあり。
2	80	岡本清一・藤馬龍太郎「年表議會政治史」	至誠社	昭和35	1960	4	28	書籍	印刷	373頁	赤鉛筆・青鉛筆にて傍線の書き込みあり。
2	81	佐佐木信輔「万葉集選歌」	明治書院	大正7	1918	4	20	書籍	印刷	376頁	三版。見返し(右側)に「一九三九年(昭和十四年)二月十九日夕。本書は私が始めて万葉集に興味を抱いた際畏敬する大塚金之助兄に伺合せしところ、同兄よりこれが難も良き参考書なりとて贈られたもの。小菅において受取り、やがて河上先生が歌に親しみ、万葉集を研究したいと言はれしを伝聞し、先生へ御差入れを河上夫人に托して獄中にて開讀し頂きたるなり。今先生より返送されしを見て、感佩あり。一書記して書架に蔵す。緑花落画山房にて風籙山人」とヘンにて書き込みあり。見返し(左側)に小包の表書き「世田谷区下馬町三ノ七三七 鈴木安蔵 棟 中野区水川町三七七 河上肇 昭和14年2月18日消印あり」貼付あり。扉に「図書交付票(昭和10年12月17日、第753番河上肇)の貼付あり。
2	82	鈴木安蔵「憲法講義案」第二分冊						冊子	印刷	279頁	簡易製本。鈴木安蔵は静岡大学教授・法学博士。「附録」の空きページ(271頁)に赤鉛筆にて書き込みあり。「研究問題」に多数の加除修正あり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
2	83	鈴木安蔵『日本憲法学研究』	勁草書房	昭和50	1975	6	30	書籍	印刷	488頁	見返し(表表紙)に「著者所蔵本一九七五年六月十六日入手」と黒ペンにて書込みあり。また「校訂本」と赤ペンにて書込みあり。赤字にて修正書込みあり。七月二日付新聞(新聞各不明)での広告記事切り抜きが貼付あり。見返し(裏表紙)に「刊行が予定よりおくれたために『終章に代えて』の一文を改めて、本書全体をつらぬく憲法学のあるべき姿についての余の肩肘が十分にはないというわがわがががががががががががががががががとペンにて書込みあり。裏表紙右側に菊池三郎「合江正通論補遺訂正」(『法律時報』昭和50年7月号)切り抜きが貼付あり。切り抜きに背ペンにて「合川が伊藤『憲法義解』ときびしく対立する体制内批判主義の憲法思想家であることが、新史料によりいっそう確実となりました」との書込みあり。裏表紙左側に「224頁 尾尾島の論文 刊行年月を確かめること」と赤ペンにて書込みあり。また「日本の『近代化』」と題する200字語原稿用紙2枚貼付あり。
2	84	Carl Joachim Friedrich, <i>The Philosophy of Law in Historical Perspective</i>	Phoenix Books		1963			書籍	印刷	297頁	赤鉛筆・青鉛筆にて傍線の書込み多数あり。
2	85	Karl Kautsky, <i>The Dictatorship of the Proletariat</i>	National Labour					書籍	印刷	149頁	Translated by H.J.Stenning Second Edition 初版は1919年。扉に「一九四九年十月二日」とペンにて書込みあり。赤鉛筆・青鉛筆にて傍線の書込みあり。
2	86	V.I.Lenin, <i>The State: A Lecture Delivered at the Sverdlov University July 11, 1919</i>	Foreign Languages Publishing House		1950			小冊子	印刷	38頁	赤鉛筆・青鉛筆にて傍線、文字の書込み多数あり。
2	87	V.I.Lenin, <i>The State: A Lecture Delivered at the Sverdlov University July 11, 1919</i>	Foreign Languages Publishing House		1951			小冊子	印刷	38頁	赤鉛筆にて傍線一箇所あり(9頁)。
2	88	Nikolai Lenin, <i>The Soviets at Work: The International Position of the Russian Soviet Republic and the Fundamental Problems of the Socialist Revolution</i>	Rand School of Social Science		1919			小冊子	印刷	48頁	Fifth Edition 鉛筆にて「Y. Suzuki December 26, 1924」と書込みあり。赤ペンにて傍線、「敵の陣営内の対立の利用」(4頁)の書込みあり。
2	89	鈴木安蔵『政法の知識』						小冊子	印刷	47頁	鈴木安蔵は法学博士。表紙に「著者校訂本(一九六三年三月校訂)ペンでの書込みあり。裏紙裏に「37年12月20日決定、自治省発表」とペンにて、36年12月20日、35年11月20日、37年6月28日、35年12月22日の男、女、計の数の記載あり。目次1頁目に「選挙人名簿登録者数」の新聞切り抜きが貼付あり。20頁の項目に赤ペンにて訂正あり。「女性の権利宣言」(19・20頁)の項目に赤ペンにて訂正あり。ペンにて書込みあり。表紙裏に「治憲法(明三年三月一〇日)女子の不平等 五條政事上の柱社加入禁止 五條二項 政談集に出席もしくは発起人たること禁止(大正一年削除)」とペンにて書込みあり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
2	90	鈴木安蔵「革命—その理論と実際—」	北隆館	昭和25	1950	4	28	書籍	印刷	389頁	見返し(著者紙)右頁に「革命は政治の最も革命的な焦点(der konzentrierte Brennpunkt)であるから、革命における、いわゆる激烈な、残虐な、徹底的な権力主義、目的達成のために手段を選ばない一切のものは、平常の政治闘争自体においても演じられている。尤も、そのような形態をどらないでも、他の手段によって目的が達成せられるかぎり、いわゆる多数決、説得、討論等々が政治の方法として支配しうるにすぎないのである。いわゆるアモクラシーの現象が何よりも明らかにこのことを示している。戦争は国際社会における政治闘争の最終的形態という点で、革命が国内政治において果したときも役割とはたし、また同じ性格をもっている。のみならず、政治においては、一國の革命の国際的因を無視できぬ。」とペンにて書込みあり。見返し左頁に「〇再版の際、赤色をもって濃く落つついた色彩にすること。〇扉を文字だけにした方よし。〇隣接相当多いから扉部に訂正のこと。校訂本」と著者紙にて書込みあり。そのほか目次、本文中に赤鉛筆、青鉛筆で加除修正等書込みあり。見返し(著者紙)右頁に尾崎庄太郎「(書評)鈴木安蔵『革命』」革命は革命として理解せよ」(図書新聞)昭和25年6月28日)切抜き貼付あり。
2	91	鈴木安蔵「勁草全書 国法学—憲法学の基礎理論—」	勁草書房	昭和35	1960	4	10	書籍	印刷	253頁	見返し右頁にメモ貼付あり。メモにはペンにて「J.C. Bluntschliの著書 ①Lehre vom modernen Stat—全3冊 1. Theil — Allgemeine Statistik 1875 (viii + 636頁) 2. Theil — Allgemeine Statistik 1876 (viii + 675頁) 3. Theil Politik Stuttgart 発行 ②Allgemeines staatsrecht—全2巻(2冊) 1.Band—序書—5章(Buch/語用用) viii + 571頁 2.Band—6章—12章(ウ) viii + 571頁 但し、うち14頁索引) 初版年不明 安蔵書は5版1868—München発行 ③Geschichte der Wissenschaften in Deutschland 叢書の第1巻 Geschichte des allgemeinen Staatsrechts und der Politik—初版年不明 安蔵書は5版1867—München発行(1冊本全21巻) viii + xvi + 667頁 彼が手をつけていった順序も、②と③との初版の古さで不明ながら) 一总体解るような気がします。なお、個別の目次が必要ならご指示下さい。1959.03.24」と記される。扉に「著者校訂本」とペンでの書込みあり。「国家権力の分析をしない国家を社会の中に解消する境地」(9頁)「家永三郎『回法権独立の歴史の考察』一九六三年」(239頁)にペンにて書込みあり。そのほか本文中に赤ペンにて加除修正、赤鉛筆、青鉛筆で傍線書込みあり。
2	92	ソ同盟科学アカデミー哲学研究所コンスタンチーナフ監修・ソヴエト研究者協会訳『史的唯物論』上巻	大月書店	昭和27	1952	1	31	書籍	印刷	520頁	赤鉛筆・青鉛筆の傍線、ペンでの書込みあり。整理番号67の続書(下巻)
2	93	河上肇・大山郁夫監修・政治批判社編輯『マルクス主義講座X』	マルクス主義講座刊行会	昭和3	1928	10	15	書籍	印刷	370頁	表紙に赤ペンにて「政学論組合論」と記す。裏付には志村義雄編輯とあり。本書の中の第五編二「労働組合論 大川南三」の横「大川南三」を黒ペンにて取り消し「鈴木安蔵」と記す。その横「ともかこ編まった論著として自分が書き上げたのはこれが最初であらう 昭和十六年七月十日記」との書込みあり。また同文章には赤鉛筆で傍線、書込み多数あり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
2	94	マルクス著『ゴータ綱領批判』(15)	ナウカ社	昭和23	1948	5	30	書籍	印刷	81頁	ナウカ社版キリスト全書第15冊(原には(14)とあり)。扉に「一九四八年六月三十日」と赤鉛筆にて書込みあり。赤鉛筆にて傍線、書込みあり。本文最後頁(54頁)に「七月一日夜」と赤鉛筆にて書込みあり。
2	95	今中次郎『政治学通論』	大明堂	昭和24	1949	6	12	書籍	印刷	203頁	見返し左頁に「藤呈 鈴木学兄 著者」と黒ペンにて書込みあり。赤鉛筆にて傍線等書込みあり。
2	96	H.J. ラス・キ著、山村高訳『共産党宣言への歴史的序説』	法政大学出版局	昭和25	1950	12	10	書籍	印刷	166頁	青鉛筆にて「訳者序」中の「カール・マルクス」小冊子研究開始の「一九二四年頃」を「一九二二年頃」と修正書込みあり。そのほか赤鉛筆にて傍線書込みあり。
2	97	高橋茂吉『万葉秀歌』上巻	岩波書店(新書)	昭和14	1939	1	25	書籍	印刷	259頁	見返し右頁に「すでに此本を買ひ求めたる後同じ本を給本表の送り越されればその由を申送りしに然らば自蔵のものに就なと書き入れて送り返せと言はるるまゝに、多度利津夜恵里加摩理美那礼者山川遠古依天波越而來遠留毛野香那世速志礼世仁和壽羅礼志門野戸速多々久波羅普夫古乃由布月夜 昭和己卯春三月十九日 河上肇」とペンにて書込みあり。
2	98	Friedrich Engels, Herr Eugen Dührings <i>Umwälzung der Wissenschaft</i>	Dietz		1928			書籍	印刷	354頁	赤鉛筆にて傍線あり。
2	99	Dorothy M. Pickles, <i>Introduction to Politics</i>	Sylvan Press		1951			書籍	印刷	224頁	赤鉛筆・青鉛筆にて傍線、黒ペンにて書込みあり。
2	100	カール・マルクス著・高島素之訳『資本論』第一巻第一冊	改造社	昭和2	1927	10	3	書籍	印刷	492頁	見返し左頁に「Y. Suzuki Herbst 1928」とペンにて書込みあり。扉に「鈴木」の押印あり。裏付前頁に「津田蔵書」の押印あり。
2	101	カール・マルクス著、高島素之訳『資本論』第一巻第二冊	改造社	昭和2	1927	12	3	書籍	印刷	321頁	見返し左頁に「Y. Suzuki Herbst 1928」とペンにて書込みあり。扉と裏表紙見返し右頁と493頁に「鈴木」の押印あり。なお本文は493頁から始まる。第五篇の「能対的並びに相対的余剰価値の生産」、第七篇の「資本の蓄積行程」の「第十四章 絶対的並びに相対的剰余価値」、第二十四章「閉はゆる本格的の蓄積」に赤鉛筆・青鉛筆にて傍線、黒ペン・赤ペンにて書込み多数あり。その他にも朱引きあり。
2	102	カール・マルクス著、高島素之訳『資本論』第二巻	改造社	昭和3	1928	1	1	書籍	印刷	492頁	扉と裏表紙見返し右頁に「鈴木」の押印あり。
2	103	カール・マルクス著、高島素之訳『資本論』第三巻上	改造社	昭和3	1928	2	25	書籍	印刷	432頁	扉と裏表紙見返し右頁と序文1頁に「鈴木」の押印あり。
2	104	カール・マルクス著、高島素之訳『資本論』第三巻下	改造社	昭和3	1928	4	23	書籍	印刷	429頁	扉と裏表紙見返し右頁に「鈴木」の押印あり。第四十七章「資本制時代の誕生」(二)「労働時代」329~333頁に赤鉛筆、黒鉛筆にて傍線、鉛筆にて書込みあり。
2	105	マックス・アドラー著、井原礼訳『世界大思想全集42 マルクス主義の国家観 カントとマルクス主義』	春秋社	昭和6	1931	6	10	書籍	印刷	436頁	「マルクス主義の国家観」の扉に「一九四八年四月十日」と黒ペンにて書込みあり。向文中、赤鉛筆にて傍線、書込み多数あり。向文と「カントとマルクス主義」の間に井原礼「M.アドラーの著書を中心として」アドラー研究者の為に「第一期思想春秋」第43号(昭和6年6月発行)(全6頁)の印刷物の挿み込みあり。

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
3	106	鈴木安蔵「明治憲法と新憲法」	世界書院	昭和22	1947	4	25	書籍	印刷	279頁	奥付に「昭和22、5、21、大洋堂」と鉛筆にて書込みあり。
3	107	鈴木安蔵「憲法概論」	勁草書房	昭和28	1953	2	1	書籍	印刷	284頁	本書出版後に改正された部分を黒ペンにて書込み(132頁、145頁、183頁、193頁、194頁など)、青鉛筆にて削除修正あり。
3	108	鈴木安蔵「憲法改正—日本国憲法を中心とする考察—」	如水書房	昭和28	1953	6	5	書籍	印刷	144頁	見返し左頁に「イギリス—二大政院制、国民の冷静、持統尊重—」で、flexible constitutionで弊害がない。ナチスの場合、改正が比較的容易なため、ワイマル憲法を「内から」破壊した。それは破壊憲法の大きい利益を示している。Carl Friedrich, Constitutional Government and Democracy, revised ed, 1950, p. 138-139. 扉に「著者校訂本一九五三年六月九日」と黒ペンにて書込みあり。赤鉛筆にて修正書込みあり。また黒ペンにて、67頁に「Friedrich, p139」の英文引用書き込みあり。137頁に「征服を目指していかなる戦争をも企てることがなく、またいかなる民族の自由にたいしてもその暴力を行使することがないであろう。」などの書込みあり。裏表紙裏返しに「読書新聞」7月27日の清宮四郎の書評切抜き記事、「平和憲法擁護の会週報書 宣言」(昭和28年8月)記事の貼付あり。
3	109	「憲法の歴史的研究」初版校正刷		(昭和6)	(1933)			冊子	印刷	本文 470頁 附録参考 文獻 12頁	和綴本。赤ペンにて修正書込みあり。××(伏せ字記号)の多い状態での印刷物で貴重。
3	110	鈴木安蔵先生を偲ぶ会「鈴木安蔵先生の略歴と著作目録」小冊子		昭和58	1983	11	1	小冊子	印刷	48頁	金子勝による「編者序」で、「この『鈴木安蔵先生の略歴と著作目録』は、『立正法学』第七巻第一—四号・鈴木安蔵教授古稀記念号に所収の『鈴木安蔵教授の略歴と著作目録』に、補遺を加え、且つ、一九七四年以降の著作を添えて、作成したものである。」とあり。
3	111	憲法調査会「憲法制定の経過に関する小委員会第二十一回議事録」小冊子		昭和34	1959	4	9	小冊子	印刷	31頁	昭和34年4月9日、赤坂離宮での憲法制定の経過に関する小委員会の議事録。鈴木安蔵は参考人として呼ばれたもの。
3	112	鈴木安蔵「公安条例と日本国憲法 附録 静岡メーデー—弾正事件公開、通告、判決—」抜刷		(昭和28)	(1953)	(12)		冊子	印刷	54頁	〔静岡大学文理学部研究報告 社会科学』2 所収論文〕
3	113	鈴木安蔵「法理学論叢37(法律学体系 第二部) 日本憲法史」	日本評論社	昭和25	1950	6	15	書籍	印刷	96頁	表紙に「著者校訂本 一九五〇年六月十六日」と青鉛筆にて書込みあり。扉に「本編は『日本憲法史』の第一編の要約のみ 第二編 明治憲法の実際 (或は運用) 第三編 明治憲法の改正されるべき必然性 第四編 改正過程—日本国憲法の制定過程 日本国憲法の基本原理 その批判 第五編 日本国憲法の実際 (或は運用)、目次前頁に「正第17頁 66頁 69頁 83頁 84頁 92頁」と青鉛筆にて書込みあり。そのほか赤鉛筆・赤ペン・青鉛筆にて加除修正の書込みあり。
3	114	鈴木安蔵「憲法の歴史的研究」	叢文閣	昭和9	1934	12	18	書籍	印刷	487頁	見返しに「著者校訂本」とペンにて書込みあり。××(伏せ字記号)のある共働の書籍。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
3	115	鈴木安蔵『明治初年の立憲思想』	育生社	昭和13	1938	9	5	書籍	印刷	334頁	水滸れのためか状態悪く、破れ、権み甚だし、ページ脱落あり。赤ペンにて加除修正の書込みあり。ただし、水滸れのためか、185頁赤ペンにて書込みもある。261頁に「立志社の憲法調査と植木技盛」(400字語原稿用紙2枚)、289頁に「共存雜誌」について(同3枚)、299頁に林茂「壬午閣会に於ける憲法私案討論」、尾佐竹雲「ロエスレルの満洲解釋」、石井研「華族界の憲法研究」所載の「明治文化」第11巻第8号切抜き、300頁に「東京日日新聞」国憲意見及び之に対する諸批判」解説(同3枚)、323頁前破れの箇所「散次政理義」について(同2枚)と「明治協会雑誌」について(同1枚) 挟み込みあり。裏表紙(見返し)に渡辺鐵次郎「明治初年の立憲思想」鈴木安蔵氏の著者を評す、相正男「立憲日本の胎動」想ふ、鈴木安蔵氏著「明治初年の立憲思想」一、「新刊紹介」鈴木安蔵氏著「明治初年の立憲思想」新聞記事切抜き貼付あり。
3	116	鈴木安蔵『日本政治の規準』	東洋経済新報社 出版部	昭和16	1941	6	5	書籍	印刷	357頁	鈴木安蔵は静岡大学・法学博士。見返し左頁に「著者校訂本」とペン書きあり。再版。青ペンにて欄外上部に書込み多数。180~186頁部分的に切取りあり。197頁に「対インドネシア通商条約の批准」(381.29m) ※ mは毎日新聞か、213頁に「ニュースの力ギ 議長職権」、218頁に「英議会の議会議制」新聞記事切抜き貼付あり。
3	117	鈴木安蔵『日本国憲法概論』	評論社	昭和41	1966	5	20	書籍	印刷	286頁	民主主義講座(6)、114頁に「民主主義講座月報」No.1(革新社、昭和22年1月、全8頁) 挟み込みあり。同月報には、岡山政道「民主主義の研究」について、伊豆公夫「日本民主主義のあり方」、鈴木安蔵「著者のことば」一刊行に際して一、「編輯便り」所収。裏表紙破れ。
3	118	鈴木安蔵『民主主義講座 日本の民主主義』	革新社	昭和22	1947	1	25	書籍	印刷	159頁	見返し左頁に「著者所蔵本」とペン書きあり。黒ペン・赤鉛筆にて加除修正、メモの書込みあり。
3	119	鈴木安蔵『憲法と人民の政治』	同友社	昭和23	1948	5	15	書籍	印刷	191頁	赤鉛筆・赤ペンにて修正の書込みあり。裏表紙見返しに鉛筆字「明治三十一年四月二日大磯遺浪園に於ける伊藤博文(右)と大隈重信、明治二十年一月大磯遺浪園に於ける山崎有朋(右)と伊藤博文(左)」(2頁分) 挟み込みあり。本書には口絵なし。
3	120	鈴木安蔵『歴史と政治』	実業之日本社	昭和23	1948	2	10	書籍	印刷	258頁	見返し左頁に「昭和卅三年八月十八日 改訂版をさらに検討しはむ」と書給事にて、「新稿作成のため削除用に用う」と赤鉛筆にて書込みあり。改訂版。45・46頁、177・178頁部分切取りあり。「新法学生書2 憲法」(評論社、昭和31年4月25日 初版7刷) 目次~38頁・253~284頁の切抜き挟み込みあり。
3	121	鈴木安蔵『評伝 伊藤博文』	昭和刊行会	昭和19	1944	2	20	書籍	印刷	365頁	整理番号121と同資料であるが、本資料には口絵4頁あり。書込みなし。表紙が外れている。
3	122	鈴木安蔵『新法学生書2 憲法』	評論社	昭和32	1957	4	25	書籍	印刷	284頁	
3	123	鈴木安蔵『評伝 伊藤博文』	昭和刊行会	昭和19	1944	2	20	書籍	印刷	365頁	

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
3	124	鈴木安蔵『自由民権』	白揚社	昭和23	1948	12	15	書籍	印刷	494頁	見返し左頁に「著者校訂本一九四八年十二月二十四日」とペンにて書き込みあり。黒ペンにて修正(「資料」→「史料」)「論体的天皇制」→「絶対制的天皇制」、赤鉛筆にて傍線の書き込みあり。
3	125	鈴木安蔵『政治学入門』	室町書房	昭和28	1953	12	25	書籍	印刷	278頁	表紙に「切抜本」と赤鉛筆にて書き込みあり。よって本書のページ、脱落多数。
3	126	鈴木安蔵『憲法講義案』		昭和28	1953	4		冊子	印刷	279頁	鈴木安蔵は法学博士。表紙に「認定講習用」と青鉛筆にて書き込みあり。序言に「この講義案は、著者の講義をきく静岡大学、愛知大学、東京学芸大学などの学生諸君が、多少とも講義を容易に理解しうるよう、また予復習の便をうるこののできるようにと考えて印刷される。拙著『憲法概論』(勁草書房版)を手にしなう学生のため、最少限にこれだけは必要と考えられる説明がふくまれている。もちろん、さらに研究が深められれば、それに越したことはない。一九五三年四月」とあり。「第一講憲法学の諸問題—憲法学の課題・方法・範囲」タイトル上に「省略」、[第八章第二節議院内閣制]タイトル上に「省略」、[第十一章附政]タイトル下に「省略」など、赤鉛筆にて書き込みあり。
3	127	佐佐木第一・酒川幸辰・吾妻光俊・鈴木安蔵・末川博『憲法と新法律の研究』	同友社	昭和23	1948	5	10	書籍	印刷	122頁	鈴木安蔵「教育基本法とその諸問題」の寄稿部分(53~96頁)が切り取られている。佐佐木第一「基本的人権享有能力と国々の基本的人権」と吾妻光俊「憲法の労働条項と労働法」に赤ペン・赤鉛筆にて傍線書き込みあり。
3	128	鈴木安蔵『太政官制と内閣制』	昭和刊行会	昭和19	1944	5	20	書籍	印刷	235頁	裏表紙見返しに200字詰原稿用紙1枚に書き掛けの原稿抜き込みあり。原稿用紙には「太政官制 中央政府機構としての(傍線部分)取消し、太政官制は、天智天皇(六六二~六一七一年)第十八年に左右大臣の外に太政大臣の官をもうけられたにはじまり、平安時代に確立したものであるか」とあり。
3	129	鈴木安蔵『日本憲法学の生誕と発展』	叢文閣	昭和9	1934	6	30	書籍	印刷	234頁	ページ脱落多数あり。以下、抜き窓校か、抜き込みあり。「三憲法公布から第一国会まで」(69~71頁)、「跋に代へて—憲制の意義および歴史筋流の方法について」(232・233・236頁)、「著者序」(1~3頁)、「鈴木安蔵著 日本憲法学の生誕と発展」表紙に赤鉛筆にて「二三四、二三五の校正御出し下さい。」とあり。鈴木安蔵「農村家内工業ならびに「近代的家内工業」再編」(表紙2頁)に青鉛筆にて鈴木氏保存分と書き込みあり(2~16頁)。鈴木安蔵「封建制から藩本制へ—社会結構形成の発展過程—」(1933.10.7)(1~15頁)。また158・159頁に「わが国における自由主義の過去・現在・未来」(168~176頁)(168→158など赤鉛筆・黒ペンにて修正あり)、「自由主義の死滅」(214~228頁)(214~204など赤鉛筆にて修正あり)の抜き込みあり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
3	130	鈴木安蔵『憲法の歴史的研究』	大畑書店	昭和8	1933	6	20	書籍	印刷	482頁	裏表紙外れ、××(伏せ字記号)の部分を一つ一つ青ペンにて記載、どのような語句が伏字になったのかが分かる。例えば、廃止、制限、国家権力(の)行使、反抗、君主、皇權(的)地位(組織)、国家権力(への)支配階級、(フルチヨリア国家の)憲法、(従来の)憲法、(フルチヨリア的)支配、革命、国王、(物のつながらぬ)官僚、警察(の)随し、(フルチヨリアの)安寧、反対(命題)、(一般的な)空想、(自由の)撒離、(純粋な)愛護(的民主主義)革命など。※()内以外が伏せ字。
3	131	鈴木安蔵『日本現代史大系 法律史』	東洋経済新報社	昭和35	1960	12	10	書籍	印刷	437頁	扉に「著者校訂本 一九六〇年一月四日入手」と黒ペンにて書込みあり。黒ペン・赤ペン・青鉛筆にてメモ書込みあり。赤ペンにて修正書込みあり。赤鉛筆・青鉛筆にて傍線書込みあり。52・53頁に「[町方の制度]」、54・55頁に「[地方たより]」消漢に五人組発足」の新聞記事切抜き書込みあり。裏表紙(裏返し)に中村政則「研究ノート 旧大名領主たちの華麗なる変身ぶり」(昭和57年5月27日、「[朝日新聞] 東京夕刊」)、速水慶「貴重な資料『宗門改帳 歴史人口学の成立(下) 組織的な収束・整理を』」(『毎日新聞』昭和45年8月4日)の新聞記事切抜き、静大教授法学博士鈴木安蔵「三島市民講座テキスト第一号 近代日本の政治」(全3頁)、東洋経済新報社の「日本現代史大系全一四巻刊行案内」の挟み込みあり。
3	132	鈴木安蔵『憲法制定とロエスレルー日本憲法原案の起草経緯と其の根本精神』	東洋経済新報社	昭和17	1942	1	8	書籍	印刷	447頁	見返し左頁に「著者校訂本」とペン書きあり。背表紙・奥付とも「憲法制定とロエスレルー」題目しかないが、扉に「日本憲法原案の起草経緯と其の根本精神」の副題あり。ただし、「日本」を取消し「明治」と黒ペンにて修正。373~375、377頁に赤鉛筆にて印や傍線の書込みあり。
3	133	近代日本研究会『満洲事変前後』	白揚社	昭和18	1943	12	20	書籍	印刷	433頁	扉には「近代日本歴史講座」とあり。奥付には「著者近代日本史研究会代表鈴木安蔵」とあり。奥付前頁には「著者代表略歴」として鈴木安蔵の略歴が記載されている。

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
3	134	鈴木安蔵「日本憲法立憲論」	中央公論社	昭和16	1941	5	15	書籍	印刷	502頁	背表紙が外れている。見返し右頁に黒ペンにて「一九四八年(昭和二十三年)二月八日夜しるす。本書は重刷せず。一、「自由民権」に、関係部分は補訂して収録した。一、条約改正関係部分には、別に補訂して採用の予定一欄を「条約改正如何」の解題下に、一、政府の憲法制定過程については、「憲法制定とヘルマ・ロエスレル」「伊藤博文」等につぎきているし、また、やがて承認あらば、これらを総合して、語ちなきものをまとめる予定、いすれにせよ、もはや本書の形での重刷は価値なし。「明治維新政治史」を補訂すること、明治初年の右にとり入れない部分を、「大政官制と内閣制」とともに資料として、「日本憲法主義の成立と機軸」という風のものを作成したいとおもう。」と書き込みあり。見返し左頁に黒ペンにて「When can I publish the revised and enlarged edition of this work? In near future I shall be able, no I ought, to finish this task. Then will be my work the stand me in this field and my heart will be satisfied and be calm. July 21, 1941.」. 黒ペンにて「著者校訂本」と書き込みあり。扉に「昭和十六年五月二十三日 見本として一冊届けられしもの」と黒ペンにて書き込みあり。「序」頁の前頁に「一、One thing at a time. これは、けだし学究にとって特に真理である。分析力の集中なくしては研究は粗雑となるのである。一、著者をして、その過去七年間の研究を統括することによって、それが現在の眼より見て如何に粗雑な点の多いかを具体的に痛感、反省せしめる契機となつたとすれば、本書の公刊は、すでに一つの意義がある。かうして一冊の著書の形に纏めてみないうちは、その粗雑さをもリアルに感じ得なかつたかのやうである。自外は、本書を通読しつつ、今後の研究を如何に進めてゆくか、ゆかねばならないかとのつしき取極を以て自らを慰むる外はないのである。五月二十五日夜記す」と黒ペンにて書き込みあり。本書中、赤ペンにて加除修正等書き込み多数あり。赤鉛筆にて印の書き込みあり。「第四條条約改正」の146頁に不敏妄言「条約改正と法典編纂」記事、「第九章十四年政変と国会閉会詔勅の落発第二節大隈参議の国会即開・政党内閣論」の268・269頁に「〇七年間投票九百八十九万円の記事切抜き貼付あり、268頁補外下に赤ペンにて「何故円」に大隈は、伊藤井上にも譲らずこの意見を提出したか」とメモ書きあり。「第十章 諸政党の結成と自由民権運動の推移」内の320・321頁に小久保喜七「市大井憲太郎先生文」(「明治文化」第11巻第20号、昭和13年12月11日)記事貼付あり、「第十二章 クナイスト、モツセおよびスタインの諷刺」内の402・403頁に鈴木安蔵「スタイン氏講義『憲法及行政法要義』について」記事、1886年9月7日付岡田安賢宛てスタイン書翰(伊藤博文書第71巻所収)の身し原稿貼付あり、「第十三章 政府の憲法発布・国会閉会準備と民間の動向」内の438・439頁に鈴木安蔵「学問の心得」雑感(記事には赤ペンにて修正あり)貼付あり、奥付に正誤表貼付あり、裏表紙(見返し)に岡山道太郎「政行と寺島」(「政治文化」第13巻第11号、昭和15年11月号)記事切抜き貼付あり。
3	135	鈴木安蔵「日本憲法成立史」	学芸社	昭和12	1937	2	28	書籍	印刷	501頁	再版。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
3	136	日本放送協会編『民主主義十二講』	日本放送出版協会	昭和21	1946	11	20	書籍	印刷	145頁	天野貞祐「第一講 人間は平等なり」、横田喜三郎「第二講 民主政治の意義と価値」内に黒鉛筆にて傍線の書込みあり。
3	137	鈴木安蔵『憲法講義案』						冊子	印刷	123頁	鈴木安蔵は静岡大学教授・法学博士。目次前頁に「憲法講義案 正原」表記あり。裏表紙と裏表紙裏返し破れ。
4	138	河上肇訳著『事項別レーニン選集 第一分冊 レーニン弁証法的唯物論について』	弘文堂書房	昭和4	1929	1	15	書籍	印刷	131頁	再版。扉に「一九二九・一・一九九入手 傍子に」とペン書きあり。赤ペンにて傍線の書込みあり。
4	139	大曲哲三編輯『余生遺稿』	福島印刷	大正4	1915	6	6	書籍	印刷	144頁	非売品。表紙紙(見返し)左頁に「母ルイ 大正十四年(一九二五年)二月十八日没」と青ペンにて書込みあり。「余生」は鈴木良雄の号。裏表紙(見返し)右頁に正誤表貼付あり。
4	140	フハーリン著、内藤英男訳『ロシアに於ける階級闘争と革命』	共生閣	昭和3	1928	5	25	書籍	印刷	100頁	扉に「鈴木」の押印あり。赤ペンにて傍線の書込みあり。
4	141	レーニン著、瓜生信丰訳『マルクス主義文庫 6 反精算主義について』	希望閣	昭和3	1928	6	10	書籍	印刷	85頁	扉に「鈴木」の押印あり。「カーメネフ著『二つの党』への序文」(一九〇一年八月二日)に赤ペンにて傍線。「精算主義の精算」(一九〇九年七月『プロレタリア』第四十六号)に赤ペン・赤鉛筆の書込みあり。その他にも赤ペンでの傍線、欄外上の書込みあり。
4	142	レーニン著、直井武生訳『マルクス主義文庫 7 ストライキについて』	希望閣	昭和3	1928	6	15	書籍	印刷	100頁	扉に「鈴木」の押印あり。論説「経済的及び政治的ストライキ」(一九二二年五月、『ネフスカヤ・ズヴェスタ』第十号)に赤ペン・青ペン書にて傍線、欄外上に「経済的ストライキと政治的ストライキの結合」(65頁)「政治的ストライキの意義」(66頁)「経済的ストライキの意義」(67頁)など黒ペンでの書込みあり。
4	143	ラスキーンズ著、片野有一訳『哲学叢書 エンゲルスとチューリング 反チューリングのため』第二輯	耕進社	昭和7	1932	2	2	書籍	印刷	133頁	
4	144	政治学研究会編『政治学研究第二集』	実業之日本社	昭和23	1948	12	10	書籍	印刷	180頁	清岡四郎「管理法秩序と国内法秩序—占領下に於ける憲法の地位—」(87~102頁)及び「管理法秩序と国内法秩序 補注(清岡四郎)」(179頁)に赤ペンにて傍線の書込みあり。178・179頁に本資料の常の採み込みあり。
4	145	小野信吉『金澤民権史—一名自由党血源史』	福島民権社出版部	大正13	1924	6	23	書籍	印刷	122頁	
4	146	水谷真三郎訳『改訂「ゴータ綱領批判」』	弘文堂	昭和2	1927	9	10	書籍	印刷	84頁	見返し左頁に「一九二七・一〇・七 栗原藏書」とペン書きあり。表紙右下に「河上肇編集 マルクス主義叢書 第拾貳冊」と赤字にて印刷あり。

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
4	147	ボブ・フラー・上村正夫訳『民主主義革命の厄化の歴史的条件 附録 同盟軍としての農民』	共生閣	昭和5	1930	3	17	書籍	印刷	213頁	見返し左頁に「Feb. 5, 1931」と赤字にて書込みあり。本書中に朱引きあり。裏表紙(見返し)右頁に「大正十一年九月一日、二重政府と権威主義」文化生活研究会出版部 / 大正十一年七月七日 大岡育造「憲政治下二権威主義ナルモノアリ」総理大臣モニと争つ許サズ。行政内閣ノ外二権威アリ。随意二国庫ヲ貸シテモ増加シテ借ラザルヲ知キ、列強ラントテ我國ノ平和主義ヲ疑ハシムルモノデアル。(四)「法制局長官藤田一博士は、三月十二日貴族院予算委員会総会に於ル江木翼氏の質問に対し次の如く答へて居る。憲法ノ解釈トシテハ、重層成及ビ準備兵器ヲ定ムルニ就テハ、大臣ノ輔弼ヲ必要トメテ居ル。然ルニ實際ハ内閣ノハ之と与ラズ。自分カトハ憲法義務ノ解釈ヲトテ思フテ居ルカ、将来之ヲ如何ニスルカトイフコトハ重大ナル問題ト思フ。(二)一ニ二頁ノ「〇」或る事実上ノ行動が君主親王ヲ給ふを要すると云ふ趣旨を排斥して、之に關連する一切ノ事項を挙げて大臣ノ輔弼外に盡くべしとするのは、故らに大臣を恐避するの端に出づるもの…」(二九頁) / 〇「凡ての内務に亘つて必ず大臣の輔弼あるべきは憲法の要求である。」(二八) / 〇 國務大臣の輔弼を容るゝとしても、これが武官專任ならば、重閣の地位は依然安泰でありうる。しかしこれすらも防禦しようとしたのである。(以上赤ペンにて傍線の書込みあり) / 〇 憲法義務以上に、「閣下所に依れば、革命は寺内伯の陸相たりし時代の制度に係るとか。制定に先立ち、一心元老としての伊藤公の同意を求めたが、流石に公は憲法の精神を蹂躪するの甚だしきものとして断乎として峻拒したといふ。」(四八頁) 大・七・九・中・公」と鉛筆にて書込みあり。
4	148	久留米敏造訳『シュミットに与へたエンゲルスの手紙』	同人社書店	昭和2	1927	7	6	書籍	印刷	62頁	扉と裏見返しに「鈴木」の押印あり。濡れ染みあり。
4	149	レーニン著、川内唯彦訳『レーニン重要著作集第一篇 ロシアに於けるマルクス主義の建設』	白揚社	昭和4	1929	6	27	書籍	印刷	598頁	見返し左頁に「鈴木安蔵」とペン書きあり。扉に「鈴木」の押印あり。赤鉛筆にて傍線と頁数の書込みあり。
4	150	故長野島千代遺稿刊行会編『島千代遺稿集 脚下の泉』	地涌学会	大正13	1924	12	1	書籍	印刷	437頁	非売品。見返し左頁に「我等の良き同志かつしき友長野島千代兄の遺稿です。姉上の心静かなる御編纂を祈ります 一九二五年四月廿四日記」とペンにて書込みあり。
4	151	経済学批判会編『原文対訳唯物弁証法(マルクス、エンゲルス、およびレーニンの諸著作よりの抜粋)』	弘文堂	昭和2	1927	7	15	書籍	印刷	251頁	表紙右下に「河上肇編纂・マルキシズム叢書 第十冊」と赤字にて印刷あり。見返し左頁に「一九二八年一月一四日夜 河上先生より頂く」とペン書きあり。扉と裏表紙に「鈴木」の押印あり。
4	152	レーニン著、高山洋吉訳『レーニン全集 第二十二巻一九一七年 第一分冊』	白揚社	昭和5	1930	3	5	書籍	印刷	289頁	赤ペン・青鉛筆にて傍線の書込みあり。
4	153	レーニン著、山川均・大森義太郎訳『唯物論と経験批判論』	白揚社	昭和5	1930	7	20	書籍	印刷	656頁	見返し左頁に「一九三〇、八、一四球之」とペンにて書込みあり。赤ペン・青鉛筆にて傍線の書込みあり。
4	154	レーニン著、君嶋番三訳『議会闘争の戦術』	共生閣	昭和5	1930	2	13	書籍	印刷	316頁	赤鉛筆にて傍線の書込みあり。
4	155	金子一・海野晋吉編『法学新書 基本的人権』	河出書房	昭和31	1956	6	15	書籍	印刷	220頁	

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
4	156	マルクス＝レーニン主義研究所編著『共産党宣言』とマルクス主義の発展	三一書房	昭和25	1950	2	10	書籍	印刷	119頁	赤鉛筆にて傍線の書き込みあり。
4	157	『学習六法 憲法・民法・刑法』法学セミナー5月号別冊付録	日本評論社	昭和50	1975	5	1	書籍	印刷	159頁	法学セミナー1975年5月号別冊付録通巻239号。本別冊付録だけの分売は不可。
4	158	鈴木安藏編『日本の憲法学—歴史的反省と展望—』	評論社	昭和43	1968	10	10	書籍	印刷	310頁	本書中の論文、影山日出弥「科学的憲法学の生誕と終焉」に赤鉛筆・青鉛筆にて傍線の書き込みあり。裏表紙裏返しに、①昭和43年(清印)9月29日付鈴木安藏宛清宮四郎葉書(本書乙巻封のお礼)、②昭和43年10月2日(清印)鈴木安藏宛岸野俊彦葉書(本書乙巻送のお礼、併せて「大学紛争で研究に打つ込む時間が得られぬ毎日です。」と記す)、③矢野次郎【(書評)鈴木安藏編『日本の憲法学—歴史的反省と展望—』科学的憲法学の成立をめざす「憲法学批判」の書】(読書の友)1968年11月18日)記事切抜き貼付。
4	159	マックス・アトラナー著、福田次郎訳『改造文庫 第一部第七十五篇 マルキシズム方法論—科学に対する論議に於る因果性と目的論—』	改造社	昭和7	1932	2	14	書籍	印刷	371頁	
4	160	カール・カウツキー著、岸利彦訳『改造文庫 第一部第七十六篇 倫理と唯物史観』	改造社	昭和5	1930	7	10	書籍	印刷	176頁	
4	161	エンゲルス著、西雅雄訳『岩波文庫 S31-S32 改訂版 家族・私有財産及び国家の起源』	岩波書店	昭和21	1946	11	10	書籍	印刷	255頁	昭和21年11月10日第11刷改訂版発行、本書は昭和24年3月25日第13刷発行。裏表紙裏返しに「Kasayuki Okamoto」とへン書きあり。
4	162	レーニン著、堀江邑一訳『社会主義著作集 国家について』	社会主義著作刊行会	昭和21	1946	7	5	小冊子	印刷	33頁	原に「鈴木」の押印あり。赤鉛筆・赤ペン・青鉛筆にて傍線の書き込みあり。青鉛筆にてメモ書きあり。
4	163	河村文介著『法学新書2 国民主権』	河出書房	昭和30	1955	10	31	書籍	印刷	199頁	赤鉛筆・青鉛筆にて傍線の書き込みあり。
4	164	静岡大学法経学会編『法学 経済学 学習のしおり』	静岡大学生活協同組合	昭和37	1962	5	15	小冊子	印刷	37頁	静岡大学生活協同組合頒布の「学習のしおり」。
4	165	ストウチュエカ著、プロレタリア科学研究所法及国家理論研究会訳『法及び国家理論叢書Ⅴ サウエート憲法入門』	希望閣	昭和6	1931	10	20	書籍	印刷	148頁	製本不良本。
4	166	シルクインド著、プロレタリア科学研究所法及国家理論研究会訳『法及び国家理論叢書Ⅲ サウエート同盟の監獄』	希望閣	昭和6	1931	1	20	書籍	印刷	70頁	
4	167	シルクインド著、プロレタリア科学研究所法及国家理論研究会訳『法及び国家理論叢書Ⅲ サウエート同盟の監獄』	希望閣	昭和6	1931	1	20	書籍	印刷	70頁	整理番号166と同資料。赤鉛筆にて傍線の書き込みあり。
4	168	クルイレンコ著、プロレタリア科学研究所法及国家理論研究会訳『法及び国家理論叢書Ⅱ サウエート権力の刑事政策』	希望閣	昭和5	1930	12	10	書籍	印刷	125頁	見返し左頁に「昭和卅三年八月七日再読はしむ」と青鉛筆にて書き込みあり。

立正大学所蔵「鈴木安蔵旧蔵資料」とその意義

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
4	169	河上肇訳「レーニンの弁証法」	弘文堂	昭和2	1927	9	10	書籍	印刷	97頁	改版。表紙右下に「河上肇編著・マルキシズム叢書 第一冊」と赤字にて印刷あり。扉に「謹啓 鈴木兄 河上肇 一九二八年十一月」とペン書きあり。内容は、デボリン原著「前篇 革命的弁証法」としてのレーニン、デボリン原著「後篇 弁証法」に関するレーニンの遺稿について、レーニン遺著「弁証法の問題」について、赤ペンにて傍線・メモの書き込みあり。前篇第一章の下に「ヘーゲル、マルクス、レーニンの弁証法」、第二章の下に「レーニンと理論」、第三章の下に「普通と特殊」、第四章の下に「現象の多様性」、第五章の下に「客観主義と主観主義」、第六章の下に「帝国主義(現代の経済的内容)」、第七章の下に「戦争」、第八章の下に「プロレタリアートによる権力奪取、プロレタリアートの独裁」と赤ペンにて書き込みあり。第九章以降、書き込みなし。
4	170	『自由に死す(河合栄治郎法廷闘争記)(中央公論第六十五年第一号別冊附録)』	中央公論社	昭和25	1950	1	1	書籍	印刷	135頁	表紙に河合栄治郎の写真、及びロマン・ロラン「ジャン・クリストフ」よりとして「どの国の人々であれ、悩み、そしてまたかかっており、やがて勝つであろう 自由な魂たちに ささく」文章が掲載される。
4	171	京都帝国大学全学部学生代表者会議編『京大問題の真相』	政経書院	昭和8	1933	6	17	書籍	印刷	60頁	本書は百版。初版は昭和8年6月12日。赤鉛筆にて傍線の書き込みあり。
4	172	フランツ・メーリング編、清水三郎訳『マルクス主義文庫15 反動期に於けるマルクス、エンゲルス・ワイデマイヤーに与へたマルクス・エンゲルスの手紙』	希望閣	昭和4	1929	10	5	書籍	印刷	110頁	
4	173	鈴木俊・井上幸治・宮城良造編『世界歴史大年表』	平凡社	昭和13	1938	1	20	書籍	印刷	432頁	改訂普及版。本書は昭和16年2月20日第5刷。監修者は、東京帝国大学教授文学博士村川堅固、慶応義塾大学教授橋本増吉、編者は文学士鈴木俊、文学士井上幸治、文学士宮城良造。編纂者代表は鈴木俊。見返し左頁に「Nov.4,1941. The 16th of Showa」とペン書きあり。赤鉛筆にて傍線の書き込みあり。
4	174	旧産業労働調査所翻訳『日本の情勢と共産党の任務』	解放社	昭和21	1946	3	5	書籍	印刷	51頁	本にカバーを掛け、貼り付けられている。カバー表紙に「These」と赤鉛筆にて書き込みあり、赤鉛筆・赤ペンにて傍線の書き込みあり。
4	175	アドラツキ一編、直井誠夫訳『レーニン史的唯物論体系(全)』	希望閣	昭和5	1930	9	30	書籍	印刷	584頁	見返し左頁に「Y.Suzuki 3 September 1932 Tokyo」とペン書きあり。
4	176	憲法改悪阻止大阪府各界連絡会議「憲法問題シリーズ 第4集 憲法しゅうりん告発関西市民法廷証言集 憲法一この現実を告発する一」	憲法改悪阻止大阪府各界連絡会議(略称 大阪憲法会議)	昭和43	1968	12	1	小冊子	印刷	29頁	本冊子は、「日本国憲法」の条文と「人権に関する世界宣言」(1948年12月10日第3回国際連合総会において採択)の序文が掲載される。
4	177	鈴木安蔵『教養テキスト 憲法と人権に関する世界宣言』		昭和37	1962	6		小冊子	印刷	24頁	表紙・背表紙・裏表紙、目次がない状態。本書内に「愛知大学法経論集29」鉛筆書きされた表の抜き込みあり。表紙なし。鈴木安蔵「経済学批判」と法学および政治学」(31~70頁)所収。
4	178	『愛知大学法経論集』29		昭和34	1959	12		雑誌	印刷	266頁	

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
4	179	クレイレンゴ著、大竹博吉訳「ソヴェト法並 国家の哲学的基礎」	ロシア問題研究所	昭和4	1929	3	10	書籍	印刷	225頁	発売は希望閣、見返し左頁に「全国の労働者農民に、本書をレ 二二の『国家と革命』とともにすすむ。一九二九年五月七 日 鈴木安蔵」とペン書きあり。赤鉛筆・赤ペン・鉛筆にて傍 線、欄外上に赤鉛筆にて「新官僚の劇出」(201頁)「アメリカ をみよう」(217頁)の筆込みあり。186・187頁、200・201頁、 218・219頁の間に附箋の挟み込みあり。
4	180	大田黒社会科学研究者、カール・マルクス、 フリードリヒ・エンゲルス原著、テ・リヤ ザノフ編著「コンハルタ マニフェスト」	大田黒研究所	昭和5	1930	11	30	書籍	印刷	392頁	改訂。初版は昭和5年1月1日。表紙にMANIFESTO DE KOMUNIST=PATRIO と題目印字あり。扉に「December 1930」と赤ペンにて書込みあり。84頁「×××宣言」と85頁 「一、ブルジョアとプロレタリア」の間に附箋の挟み込みあり。 86頁に黒ペンにて書込みあり。
4	181	プロイド著、高橋英訳「労働者農民文庫(7) 帝国主義と民族問題」	共生閣	昭和4	1929	4	10	書籍	印刷	144頁	見返し左頁に「鈴木安蔵」とペン書きあり。赤鉛筆にて傍線の 書込みあり。
4	182	1947(昭和22)年10月以降日記	文華堂出版部	昭和22	1947	10	2	日記帳	ペン書き	1冊	日記は、文華堂出版部が昭和22年3月5日発行の「自由日記」。 日記記載は昭和22年10月2日から昭和24年9月16日まで。
4	183	昭和廿六年当用日記	博文館	昭和26	1951			日記帳	ペン書き	1冊	日記表紙に、赤鉛筆で「⑤」とあり。本冊が日記の5冊目なのか。 日記記載は昭和26年1月1日から同年12月31日まで。
4	184	1955(昭和30)、56(31)年日記		昭和30	1955			ノート	ペン書き	1冊	日記表紙に、赤鉛筆で「⑩一九五五—五六 昭卅年、卅一年」 とあり。本冊が日記の11冊目なのか。同じく表紙に青鉛筆に て「①②号は、から子の所にあるという 後子二九—六〇号読了 (八九年三月三日)」とあり。青表紙には赤鉛筆にて「[3]」とあり。 日記記載は昭和30年12月30日から昭和32年2月1日まで。裏 表紙(見返し)に「池鶴堂 静岡市呉服町」の店名シールが貼付 されている。
4	185	1957(昭和32)日記		昭和32	1957			ノート	ペン書き	1冊	日記表紙に、赤鉛筆で「⑫一九五七 昭卅二」とあり。青表紙 に赤鉛筆にて「[4]」とあり。日記記載は昭和32年2月2日から昭 和33年4月21日まで。
5	186	鈴木安蔵「明治憲法と新憲法」一部	世界書院	昭和22	1947	4	25	小冊子	印刷	1頁と 奥付のみ	鈴木安蔵「明治憲法と新憲法」279頁(「第六章 新憲法解釈・ 運用の基本問題」の最後の頁、最後の行に「潮流」一月号、 「改造」二月号、一九四七・七・二二—一補筆」とあり)と奥 付のみ。
5	187	Communist Party of Great Britain, <i>The Worker's united front and the I.L.P.</i>	Marshalsea Press					小冊子	印刷	15頁	Earliest possible date 1930 Latest possible date 1939
5	188	Béla Kun, <i>Was wollen die Kommunisten?</i>	Carl Hoyrn Nachf. Louis Cahnbley		1920			小冊子	印刷	23頁	第2版。

立正大学所蔵「鈴木安藏旧蔵資料」とその意義

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
5	189	カール・マルクス起草、総務委員会(ゲネラル・ラート)提案「インタンシヨナルコンファレンス(一八九六六年)の四決議」						小冊子	印刷	9頁	表紙裏返しに「マルクス並びにエンゲルスのインシヤナーウの下に創設された所謂第一インタンシヨナルの第一回大会は一八六六年ゲンフに於て開かれた、以下掲出せる決議は即ち此大会の決議である。(Karl Marx: Die Inauguraladresse der internationalen Arbeiter-Association, Übersetzt von Luise Kautsky, 1922. より翻訳)」とあり。赤ペンにて加除修正等書き込みあり。赤鉛筆・青鉛筆・紅筆にて削除指示あり。
5	190	N. Bucharin, <i>Anarchismus und wissenschaftlicher Kommunismus</i>	Carl Hoyrn Nachf. Louis Cahnbley		1920			小冊子	印刷	14頁	Nikolaj Ivanovič Bucharin. 第2版。
5	191	A. Comrady, <i>Reichsgründung und Kommune. die Ereignisse von 1870-71 in Schriften von Friedrich Engels und Karl Marx</i> ほか 広告	Borwärts					ヒラ	印刷	2枚	書籍 <i>Reichsgründung und Kommune. die Ereignisse von 1870-71 in Schriften von Friedrich Engels und Karl Marx</i> の事には、A. Comrady, <i>Anfänge der Demokratie in England: Studien z. Gesch. d. Levellerbewegung (Borwärts)</i> の広告あり。
5	192	永井算日「清末の立憲改革と革命派」抜刷	(岩波書店)	(昭和31)	(1956)			小冊子	印刷	14頁	抜刷表紙に「謹呈 鈴木安藏先生 永井算日(歴研二〇二号)」とペン書きにて記す。
5	193	(Current History (1941) 53 (1) 一部)						小冊子	印刷	8頁	本資料は、①Charles Rolo, Britain's Leaders: Among the Strong Men who are Directing Britain's Destiny are Bevin, Morrison, Cooper and Anthony Eden, Current History (1941) 53 (1) 19-21頁、②History in the Making: Boom Town Washington... Army Facts... France and the New Order... Arsenal of the East, Tax Proposals, Current History (1941) 53 (1) 26~29頁、③The Forum Quiz, Current History (1941) 53 (1) 30頁からなる。紙質が悪く、割れている部分も多かったり、折れ目部分が目立たりして、状態が悪い。
5	194	森島繁也編輯「盟友カード」第2号	群馬県農村青年聯盟 結成準備会	昭和21	1946	12	10	小冊子	印刷	12頁	鈴木安藏「新憲法の根本精神」論説のみ所収。論説後に「第二号に予定した大塚謙助教授の「日本農業の将来とそれの対策」は都合に依り第三号に発行致します。このカード就了後次の問題を考へて下さい 一、民主主義とは何ぞや 二、政治は生活であり、生活は政治である」との記載あり。
5	195	鈴木安藏「論説 憲法学の基本問題—現代国家論を中心として—」抜刷	静岡大学法経学会	昭和41	1966			小冊子	印刷	22頁	論説は、静岡大学『法経研究』第15巻第2号所収。
5	196	金子勝「論説 鈴木憲法学の研究(Ⅱ) —マルクス主義への道—」抜刷	立正大学 法学研究室	昭和54	1979			冊子	印刷	58頁	論説は、立正大学『立正法学』第12巻第1・2号所収。
5	197	影山日出弥「書評 鈴木安藏著「憲法学三〇年」」抜刷	立正大学 法学研究室	昭和43	1968			小冊子	印刷	11頁	書評は、立正大学『立正法学』第1巻第2号所収。
5	198	鈴木安藏「近代政党の本質」抜刷	理論社	昭和30	1955			小冊子	印刷	16頁	論説は、「政治学講座 第二巻 政治原理(下)」所収。
5	199	鈴木安藏「近代政党の本質」抜刷	理論社	昭和30	1955			小冊子	印刷	16頁	論説は、「政治学講座 第二巻 政治原理(下)」所収。本資料は整理番号198と同じだが、シミが多い。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
5	200	林茂「憲法 植木枝盛の憲法私案と所謂立志社案の起草」抜刷	国際学会	昭和12	(1937)	(9)	(1)	小冊子	印刷	22頁	解説は、東京大学大学院法学政治学研究所編「国際学会雑誌」第51巻第9号所収。表紙に「護皇 鈴木安藏様 林茂」とペン書きあり。林茂の肩書きに「法学士」とあり。
5	201	鈴木安藏「日本国憲法制定の基本論点」抜刷	愛知大学法経学会	昭和51	1976	10		小冊子	印刷	28頁	論説は、「愛知大学法経学会法経論集 法律篇」第82号所収。
5	202	鈴木安藏「学連事件—精神的回想1」抜刷	青木書店	昭和54	1979	3		小冊子	印刷	5部	論説は、「現代と思想」35号所収、115—136頁。うち4冊は裏表紙に汚れあり。うち2冊は、抜刷表紙に「1」と赤鉛筆にて書き込みあり。
5	203	鈴木安藏「学連事件—精神的回想2」抜刷	青木書店	昭和54	1979	6		小冊子	印刷	6部	論説は、「現代と思想」36号所収、159—176頁。うち4冊は表紙に汚れあり。うち2冊は、抜刷表紙に「2」と赤鉛筆にて書き込みあり。
5	204	鈴木安藏「学連事件—精神的回想3」抜刷	青木書店	昭和54	1979	9		小冊子	印刷	4部	論説は、「現代と思想」37号所収、269—288頁。うち4冊は裏表紙に汚れあり。うち1冊は表紙破れあり。うち2冊は、抜刷表紙に「3」と赤鉛筆にて書き込みあり。
5	205	鈴木安藏「学連事件—精神的回想4」抜刷	青木書店	昭和54	1979	12		小冊子	印刷	3部	論説は、「現代と思想」38号所収、85—103頁。うち1冊は表紙に汚れあり。うち2冊は、抜刷表紙に「4」と赤鉛筆にて書き込みあり。
5	206	鈴木安藏「社会科学としての憲法学」抜刷	愛知大学法経学会	昭和49	1974	10		小冊子	印刷	25頁	論説は、「愛知大学法経学会法経論集 法律篇」第76号所収。表紙に「筆者本一九七四年十一月廿六日入手」とペン書きあり。
5	207	鈴木安藏「フランス革命における「女性および市民の権利宣言」」抜刷	立正大学 法学研究室	昭和49	1974	12	30	小冊子	印刷	3部	論説は、「立正法学」第8巻1、2号所収、105—119頁。
5	208	鈴木安藏「大学自治の諸問題」抜刷	静岡大学法経学会	昭和37	1962	11		小冊子	印刷	4部	論説は、「産業と科学」第11号所収、27—45頁。
5	209	桑原伸介「古文書解題 国立国会図書館蔵資料整理所蔵文書」抜刷	勉誠出版	昭和51	1976	12		小冊子	印刷	5頁	古文書解題は、日本古文書学会「古文書研究」第10号所収。
5	210	内藤懸「日本美術史における天平彫刻の評価について」抜刷	静岡大学文学部	昭和28	1953			小冊子	印刷	33頁	論説は、「静岡大学文学部研究報告 人文科学」第4号所収。表紙に「恵存 鈴木先生」と墨書き込みあり。
5	211	鈴木安藏「学連事件資料と二、三の回想」抜刷	立正大学教養部	昭和51	1976	1		小冊子	印刷	11頁	論説は、「立正大学教養部紀要」第9号所収。
5	212	鈴木安藏「植木枝盛論補遺」抜刷	立正大学教養部	昭和49	1974	3		小冊子	印刷	5部	論説は、「立正大学教養部紀要」第7号所収、1-15頁。
5	213	鈴木安藏「植木枝盛の主権論その他」抜刷	立正大学教養部	昭和49	1974	12		小冊子	印刷	3部	論説は、「立正大学教養部紀要」第8号所収、42-55頁。
5	214	Lenin, <i>The Land Revolution in Russia: Being a speech on the Land Question</i>	Independent Labour Party		1918	12		小冊子	印刷	32頁	1918年12月は、扉の記載による。扉には「鈴木安藏」のペン書きと「鈴木」の押印あり。序文 (Foreword) は、1919年8月と記載。
5	215	Karl Marx, Friedrich Engels, <i>Das Kommunistische Manifest</i>	Internationaler Arbeiter-Verlag		1927			書籍	印刷	96頁	Elementarbücher des Kommunismus BAND1。 扉に「Y.Suzuki 25 April 1929 Tokyo」のペン書きと「鈴木」の押印あり。

箱号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
5	216	Friedrich Engels, <i>Der Ursprung der Familie, des Privateigentums und des Staats. Im Anschluss an Lewis H. Morgans Forschungen</i>	J.H.W. Dietz Nacht		1921			書籍	印刷	188頁	Ergänzten Auflage (増補版)。表紙裏返し右頁に「鈴木」の押印あり。赤鉛筆の傍線の書込みあり。
5	217	Ernst-Wolfgang Böckenförde, <i>Staat, Gesellschaft, Freiheit Studien zur Staatstheorie und zum Verfassungsrecht</i>	Suhrkamp		1976			書籍	印刷	351頁	
5	218	Karl Marx, <i>Das Kapital: Kritik der politischen Ökonomie</i>	Otto Meissners		1922			書籍	印刷	422頁	Dritter Band, zweiter Teil (第3巻第2部)。Sechste Auflage (第6版)。
5	219	A. Lozovsky, <i>The Role of the Labor Union in the Russian Revolution</i>	The Union Publishing Association		1920			小冊子	印刷	32頁	青鉛筆にて傍線の書込みあり、鉛筆にても書込みあり。
5	220	Friedrich Engels, <i>Kommunismus und Bakunismus! Die Bakunisten an der Arbeit</i>	Buchhandlung Vorwärts		1920			小冊子	印刷	34頁	扉に「28/4.33.」とペン書きあり。
5	221	Friedrich Engels, <i>Zur Wohnungsfrage: Die grundlegende Schritt zur Wohnungsfrage im kapitalistischen Staat und in der Übergangszeit</i>	Internationaler Arbeiter-Verlag		1930			書籍	印刷	112頁	Erste Auflage (初版)。Elementarbücher des Kommunismus Band17。扉に「Y.Suzuki 29 Sep.1932 Tokyo」とペン書きあり。
5	222	A Japanese, <i>The proposed National Assembly in Japan</i>	Gibson Brothers, printers		1883			書籍	印刷	56頁	表紙に赤ペンにて「Count Terashima カ」との書込みあり。
5	223	N.Lenin, G.Sinowjew, <i>Gegen den Strom. Aufsätze aus den Jahren 1914 - 1916</i>	Carl Hoyrn Nacht, Louis Cahmbley		1921			書籍	印刷	536頁	扉に「Y.Suzuki, 22. Dec. 1925, Odaka.」とペン書きあり。目次にのみ赤ペンにて傍線の書込みあり。Carl Hoyrn Nacht, Louis Cahmbleyは、Verlag der Kommunistischen Internationale。
5	224	Friedrich Engels, Karl Radek, <i>Die Entwicklung des Sozialismus zur Wissenschaft und Tat</i>	Vereinigung Internatlonaler Verlags-Anstalten		1924			書籍	印刷	91頁	凶書全体に水濡れによる跡あり。Mit Vorwort, Fremdwörter- und Personenverzeichnis hrsg. von Hermann Duncker (ヘルマン・ダンカー)による序文・外米語、人物索引付)。
5	225	Karl Marx, <i>Der Bürgerkrieg in Frankreich</i>	Buchhandlung Borwärts		1920			書籍	印刷	157頁	Mit einer Einleitung und Anmerkungen von A. Comradly (序文と注意書き付き)。扉に「鈴木」の押印あり。
5	226	Lenin, <i>Staat und Revolution</i>	Philipp Reclam jun		1947			書籍	印刷	147頁	
5	227	F.J.C. Hearnshaw, <i>The Development of Political Ideas</i>	Ernest Benn Limited		1936			書籍	印刷	80頁	F.J.C. HearnshawのFellow King's College and Professor of Mediaeval History in the University of Londonと説明が表紙にと扉にあり。扉に青鉛筆で「19. August / 19.Aug. 1940.」と青鉛筆にて書込みあり。赤鉛筆・青鉛筆・鉛筆にて傍線の書込みあり。欄外に鉛筆にて英語の記述の書込み多数。表紙が本体から外れている。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
5	228	J.J.Rousseau, <i>Die Grundsätze des Staatsrechtes</i>	Philipp Reclam jum		1927			書籍	印刷	192頁	表紙なし。裏表紙が本体から外れている。Deutsch von Dr. Denhardt (デンハルト翻訳)。Mit einer Einleitung von Dr. Paul Ritterbusch (ポール・リッターブッシュの序文付き)。扉に「Y.Suzuki Dec.8. 1935.」とペン書きあり。年次は序文に拠る。
5	229	N.Lenin, <i>Die Nächsten aufgaben der Sowjet-macht</i>	Frankes Verlag		1920			小冊子	印刷	46頁	Kommunistische Bibliothek No.3.
5	230	Karl Marx, <i>Die Klassenkämpfe in Frankreich 1848-1850</i>	Buchhandlung Borwärts		1920			書籍	印刷	109頁	扉に「Y.Suzuki, Sep.9.1925. Tokyoh.」のペン書きと「鈴木」の押印あり。Mit einer Einleitung von Friedrich Engels und einem Borwort von August Bebes (フリードリッヒ・エンゲルスの序文とアウグスト・ベベスの緒言付き)。赤鉛筆での傍線の書き込みあり。黒ペンでの書き込みあり。表紙が本体から外れている。
5	231	N.Lenin, <i>Die Wahlen zur Konstituierenden Versammlung und die Diktatur des Proletariats</i>	Westeuropäisches Sekretariat der Kommunistischen Internationale		1920			小冊子	印刷	26頁	表紙・裏表紙、本体が劣化による外れ、バラバラになっている状態。
5	232	N.Lenin, <i>Die diktatur des proletariats und der renegat K. Kautsky</i>	Vulkan-Verlag		1919			書籍	印刷	83頁	扉に「鈴木安蔵」と鉛筆での書き込み、「鈴木」の押印あり。赤鉛筆と赤ペンでの傍線の書き込みあり。
5	233	N.Lenin, <i>Die drohende Katastrophe und wie soll man sie bekämpfen?</i>	Arbeiter- Buchhandlung		1920			小冊子	印刷	48頁	扉に「鈴木安蔵」と黒ペンでの書き込み、「鈴木」の押印あり。表紙から本体が外れている。
5	234	Karl Marx, <i>Misère de la philosophie. Réponse à la philosophie de la misère de M. Proudhon</i>	Marcel Giard		1922			書籍	印刷	267頁	フリードリッヒ・エンゲルスの序文付。第3版。
5	235	N.Bucharin, <i>Vom Sturze des Zarismus bis zum Sturze der Bourgeoisie</i>	Rote Fahne		1919			書籍	印刷	104頁	扉に「鈴木」の押印あり。4頁からなるパンフレットの書き込みあり。内容は「British Soldiers in Russia」と「We have no right in this country」。
5	236	N.Lenin, <i>Die Lehren der Revolution</i>	Arbeiterbuchta ndlung		1921			小冊子	印刷	40頁	表紙見返しに「鈴木安蔵」と黒ペンにて書き込みあり。論説は、 <i>Materialien zur Geschichte der proletarischen Revolution in Rußland</i> 3. Heft 所収。赤ペンにて傍線の書き込み、黒ペンにて「真の人民主権」(27頁)、「官僚の政治的性格」(28頁)の書き込みあり。
5	237	N.Lenin, <i>Werden die Bolschewiki die Macht behaupten? .</i>	Arbeiterbuchta ndlung		1921			書籍	印刷	64頁	表紙見返しに「鈴木安蔵」と黒ペンにて書き込みあり。扉に「鈴木」の押印あり。論説は、 <i>Materialien zur Geschichte der proletarischen Revolution in Rußland</i> , 2. Heft 所収。
5	238	Friedrich Engels, <i>Grundsätze des Kommunismus</i>	Internationaler Arbeiter-Verlag		1928			書籍	印刷	80頁	Elementarbücher des Kommunismus BAND 11. Anhang: Aus der Entstehungszeit des Kommunistischen Manifestes (附録:『共産党宣言』蔵言)。Vorwort und Fremdworte-Verzeichnis von Dr. Hermann Huncker (ヘルマン・ダンカーによる緒言と外英語一覽表付)。表紙に「鈴木」の押印1つと扉に「鈴木」の押印2つあり。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
5	239	Karl Diehl. <i>Über Sozialismus, Kommunismus und Anarchismus</i>	Gustav Fischer		1911			書籍	印刷	492頁	Zweite, vermehrte Auflage (第二増補版)。表紙に「一九四八年九月三十日 丸善にて」と黒ペンでの書込みあり。表紙が本体から外れている。
5	240	Karl Marx. <i>Das Kapital: Kritik der politischen Ökonomie</i>	Otto Meissners		1922			書籍	印刷	448頁	Dritter Band, erster Teil (第3巻前編)。Sechste Auflage (第6版)。フリードリッヒ・エンゲルスの「Vorwort」(緒言)あり。
5	241	Karl Marx. <i>Das Kapital: Kritik der politischen Ökonomie</i>	Otto Meißners		1922			書籍	印刷	739頁	Erster Band (上巻)。Zehnte Auflage (第10版)。Buch 1: Der Produktionsprozess des Kapitals. 第10版の緒言をフリードリッヒ・エンゲルスが識す。扉に「一九四七年十二月十八日 二度目の購求なり旧蔵のものすでに敵してなきをもつて」と黒ペンにて書込みあり。
5	242	Franz Mehring. <i>Aus dem literarischen Nachlass von Karl Marx und Friedrich Engels 1841 bis 1850</i>	J.H.W. Dietz Nachf.		1923			書籍	印刷	491頁	本書は、Dritter Band (第3巻) Von Mai 1848 bis Oktober 1850. Vierte Auflage (第4版)。表紙見返し右頁に「鈴木」の押印あり。扉に「Y.Suzuki 17. Juni. 1927」とペン書もあり。(参考) Bd. 1. Von März 1841 bis März 1844. Bd. 2. Von Juli 1844 bis November 1847.
1	243	鈴木安蔵宛て大畑達雄 (大畑書店) 書翰		昭和8	1933	8	3	郵便はがき	ペン書き	1枚	著校訂本と正誤表著手。9月中旬ごろ発行のため準備を進める旨の拝復の葉書。「福島県相馬郡小高町」の鈴木宛のため。相馬郡は原釜海次が居た。大畑が10年あまり前にその編に二た夏を過ごした思い出の地である旨も併せて記す。
1	244	鈴木安蔵宛て長尾龍一書翰		昭和51 (消印)	1976	1	7	郵便はがき	ペン書き	1枚	葉書表に「郵便番号はハッキリと」押印あり。(長尾龍一著)「上杉憲法雑記」(行政行為と憲法) (柳瀬博士東北大退職記念) 昭和47年、有斐閣」の件とのみあり。
1	245	(文庫のメモか)			1921			原稿用紙ほか	ペン書き	3枚	① Poland. March 17, 1921. Art. 102. (以下略) 1枚 ② Jugoslawia 1921, June 15, 憲法 / Section III Social and Economic Regulations / Art. 22. (以下略) / Art. 33. (以下略)、以上①②は「書林書院原稿用紙」と印字された200字詰原稿用紙2枚を使用。③ Carl J. Friedrich. Constitutional Government and Democracy, revised ed. 1950. p. 136. (以下略) ③は①②原稿用紙と同サイズの白紙を使用。
1	246	「公職選挙法の改正 連座制」メモ						原稿用紙	ペン書き	5枚	「評議社原稿用紙」と印字された200字詰原稿用紙を使用。原稿内容は、公職選挙法第251条の2とその解説のメモ。5枚目は最後の行に「[シユェイスト No. 74 「公職選挙法の改正」 藤子秀夫——頁)』と記載。藤子以下は欄外に記載。本原稿用紙の4・5枚目の解説は、「シユェイスト」74 (1955年1月15日号) 所収の藤子英夫「公職選挙法の改正」論説をメモしたものの。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
1	247	鈴木安藏宛て熊谷勇書翰		昭和58	1983	2	17	①封書 + ②原稿用紙 + ③写真	ペン書き	①便箋2枚 + ②3枚 + ③1枚	①「孝雄」〔薄幸の無名戦士—熊谷孝雄の生涯〕出版に当たり電話をしたこと、3月中旬頃、送らせていたこと、差出人は、孝雄より10歳下の末弟であること、孝雄の写真を一葉一封封させてもらったことを記載。②昭和57年3月3日 鹿野にて 熊谷勇「孝雄」を書くに当って」の手書き原稿、その紙に、昭和57年8月29日 熊谷勇の「真の後回郷の重本権一氏のご厚意により、武田道夫氏が筆案を引受けて下さったので来年三月発行のめとあけます」と綴られる。原稿はコピー。③写真裏に「京大生時代(1924~5年)頃の熊谷孝雄 1901年9月30日生 1934年3月8日死」とペン書きにて記される。※1 熊谷孝雄は三、一五事件で逮捕、6年の刑期を終えて出獄した後、自死。※2 鈴木安藏の住所は東京都世田谷区下馬町四丁目16-3、熊谷勇の住所は鳥取県高砂町今市1114-3。
1	248	鈴木安藏宛て青海孝司書翰		昭和57	1982	11	9	封書	ペン書き	3枚	青海孝司は大阪書籍株式会社出版部から出版予定の妻在彦「近代の日本と朝鮮—日本による朝鮮支配の四〇年—」の担当者。①写真掲載許可願1枚(妻在彦「近代の日本と朝鮮—日本による朝鮮支配の四〇年—」(昭和58年2月10日発行—日本による5000部(予定)内容は近代日朝関係の概要)に掲載願出する品目は「学運事件—精神的回想4」(青木書店刊「現代と思想」No.38 (1979年12月) p.90~91掲載)「全日本の学生陣営に訴ふ—小樽高専学教育事件に關して—」、②書翰2枚、「大阪書籍株式会社」と印字された用紙に記載。内容は、大阪書籍株式会社が、小・中学校の教科書を出すための「朝日カルチヤープラックス」の発刊を企画している会社であることを伝え、上記本への写真掲載許可を願っているもの。※鈴木安藏の住所は世田谷区下町4-16-3、大阪書籍株式会社出版部の住所は大阪市東成区深江2丁目1番1号。
1	249	鈴木安藏宛て原秀男書翰		昭和56 (消印)	1981	5	21 (消印)	封書	ペン書き	10枚	原秀男は立正大学教授(法哲学)。内容はコピー用紙10枚、1枚目に「お元氣と存じ上げます。ご無沙汰を重ねておしわけありません。ご笑覧たまわれればと存じます。原秀男拜」とペン書きあり。①原秀男「人と人 田中新次郎と「世界法の理論」(図書新聞)1981.2.14。②同「人と人(2) 恒藤恭と田沢芥川龍之介」(図書新聞)1981.2.21。③同「人と人(3) 尾高朝雄著「憲法の原理」(図書新聞)1981.2.28。④同「人と人 4. 窪沢徳義著「憲法の原理」(図書新聞)1981.3.7。⑤同「人と人 5 木村亀二「法哲学」(図書新聞)1981.3.14。⑥同「人と人 6 加藤新平著「法哲学概論」(図書新聞)1981.3.21。⑦同「人と人 7 寺田四郎「国際法学の七巨匠」(図書新聞)1981.3.28。⑧同「人と人 8 井上茂「法秩序の構造」(図書新聞)1981.4.4。⑨同「人と人 9 鈴木安藏「日本国憲法の誕生と発展」(図書新聞)1981.4.11。⑩同「人と人 10 岩海純一「法哲学概論」(図書新聞)1981.5.2。※鈴木安藏の住所は世田谷区下町4-16-3、原秀男の住所は東京都港区高輪4-18-24。

箱番号	整理番号	資料名	発行社	年(和暦)	年(西暦)	月	日	形状	筆記形態	頁数	概要
1	250	(著書のなかの正誤のメモカ) 「別頁 第〇章 改憲問題の前提諸問題」原稿						メモ用紙	ペン書き	2枚	メモ1枚目は「三一頁 外務省之部 四一 今期については「伊藤家文書」第七十巻、嶺須賀茂昭の書翰 六三頁「明治文化研究」第四巻第九号、吉野「日本憲法に対する御傳外人の言説」参照八五、推定するところは(後略)」、メモ2枚目は「三〇九頁、第九十九条は三二六次衆国軍 三八八 第六條のところ一は草案第十七条」とあり。
1	251	「別頁 第〇章 改憲問題の前提諸問題」原稿						原稿用紙	ペン書き	26枚	本文の原稿用紙は「静岡大学法経学会」と印字された200字詰原稿用紙を使用。表紙の原稿用紙は「勁草書房原稿用紙」と印字された200字詰原稿用紙を使用。表紙の「別頁」は赤ペンにて記載。また当初記載していた「第四章」の「四」の上には白い紙が貼られている。本文には加除修正あり。
1	252	(国令第41条第2項第3項改正に関する注意 点メモ)						原稿用紙	ペン書き	1枚	原稿用紙は「評論社原稿用紙」と印字された200字詰原稿用紙を使用。
1	253	(鈴木安蔵「学運事件—精神的回想1」原稿)						原稿用紙	ペン書き	74枚	編集者による赤ペンでの書込みあり。ナンバリングが原稿用紙右下下に1〜71まで振られている(うち、31・31A・31B、60A・60Bとナンバーの重複ナンバリングあり)。※ 論説は後に「現代と思想」35(青木書店、1979年3月)所収、115—136頁。完成形は整理番号202。
1	254	(鈴木安蔵「学運事件—精神的回想2」原稿)						原稿用紙	ペン書き	56枚	編集者による赤ペンでの書込みあり。ナンバリングが原稿用紙右下下に510〜565まで振られている。※ 論説は後に「現代と思想」36(青木書店、1979年6月)所収、159—176頁。完成形は整理番号203。
1	255	(鈴木安蔵「学運事件—精神的回想3」原稿)						原稿用紙	ペン書き	63枚	編集者による赤ペンでの書込みあり。ナンバリングが原稿用紙右下下に133〜195まで振られている。※ 論説は後に「現代と思想」37(青木書店、1979年9月)所収、269—288頁。完成形は整理番号204。
1	256	(鈴木安蔵「学運事件—精神的回想4」原稿)						原稿用紙	ペン書き	47枚	編集者による赤ペンでの書込みあり。ナンバリングが原稿用紙右下下に1〜46(40・41の間にナンバリングを振っていない)枚差込みあり)まで振られている。※ 論説は後に「現代と思想」38(青木書店、1979年12月)所収、85—103頁。完成形は整理番号205。

別表2 「鈴木安藏旧蔵資料」整理済み・配架資料

本表は熊谷図書館から提供いただいたリストをもとに、「簡易表示書誌」[VOL]「請求番号」欄のみを残し、「整理番号」「形状」欄を追加して、旧字を常用漢字に改めるなどして改めて再作成したものである。

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
1	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第1巻	書籍	308/Ma59/1
2	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第2巻	書籍	308/Ma59/2
3	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第3巻	書籍	308/Ma59/3
4	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第4巻	書籍	308/Ma59/4
5	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第5巻	書籍	308/Ma59/5
6	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第6巻	書籍	308/Ma59/6
7	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第7巻	書籍	308/Ma59/7
8	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第8巻	書籍	308/Ma59/8
9	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第9巻	書籍	308/Ma59/9
10	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第10巻	書籍	308/Ma59/10
11	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第11巻	書籍	308/Ma59/11
12	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第12巻	書籍	308/Ma59/12
13	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第13巻	書籍	308/Ma59/13
14	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第14巻	書籍	308/Ma59/14

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
15	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第15巻	書籍	308/Ma59/15
16	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第16巻	書籍	308/Ma59/16
17	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第18巻	書籍	308/Ma59/18
18	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第19巻	書籍	308/Ma59/19
19	反デューリング論; 自然の弁証法 / [フリードリヒ・エンゲルス著]. -- 大月書店, 1968.10. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第20巻).		書籍	308/Ma59/20
20	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第21巻	書籍	308/Ma59/21
21	マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第1巻 - 補巻4. -- 大月書店, 1959.10-1991.11.	第22巻	書籍	308/Ma59/22
22	資本論 / [カール・マルクス著]; 1a - 3b. -- 大月書店, 1965.9-1967.3. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第23a-25b巻).	1a	書籍	308/Ma59/23a
23	資本論 / [カール・マルクス著]; 1a - 3b. -- 大月書店, 1965.9-1967.3. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第23a-25b巻).	1b	書籍	308/Ma59/23b
24	資本論 / [カール・マルクス著]; 1a - 3b. -- 大月書店, 1965.9-1967.3. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第23a-25b巻).	2	書籍	308/Ma59/24
25	資本論 / [カール・マルクス著]; 1a - 3b. -- 大月書店, 1965.9-1967.3. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第23a-25b巻).	3a	書籍	308/Ma59/25a
26	資本論 / [カール・マルクス著]; 1a - 3b. -- 大月書店, 1965.9-1967.3. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第23a-25b巻).	3b	書籍	308/Ma59/25b
27	剰余価値学説史 / [カール・マルクス著]; 1, 2, 3. -- 大月書店, 1969.6-1970.6. -- (マルクス＝エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス＝レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第26(1)-26(3)巻).	1	書籍	308/Ma59/26(1)

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
28	剰余価値学説史 / [カール・マルクス著] ; 1, 2, 3. -- 大月書店, 1969.6-1970.6. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第26(1)-26(3)巻).	2	書籍	308/Ma59/26(2)
29	剰余価値学説史 / [カール・マルクス著] ; 1, 2, 3. -- 大月書店, 1969.6-1970.6. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第26(1)-26(3)巻).	3	書籍	308/Ma59/26(3)
30	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1842-1851	書籍	308/Ma59/27
31	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1852-1855	書籍	308/Ma59/28
32	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1856-1859	書籍	308/Ma59/29
33	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1860-1864	書籍	308/Ma59/30
34	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1864-1867	書籍	308/Ma59/31
35	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1868-1870	書籍	308/Ma59/32
36	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1870-1874	書籍	308/Ma59/33
37	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1875-1880	書籍	308/Ma59/34
38	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1881-1883	書籍	308/Ma59/35
39	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著] ; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集] ; 大内兵衛, 細川嘉六監訳 ; 第27-39巻).	1883-1887	書籍	308/Ma59/36

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
40	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著]; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第27-39巻).	1888-1890	書籍	308/Ma59/37
41	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著]; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第27-39巻).	1891-1892	書籍	308/Ma59/38
42	書簡集 / [カール・マルクス, フリードリヒ・エンゲルス著]; 1842-1851 - 1893-1895. -- 大月書店, 1971.6-1975.11. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第27-39巻).	1893-1895	書籍	308/Ma59/39
43	マルクス初期著作集 / [カール・マルクス著]. -- 大月書店, 1975.3. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第40巻).		書籍	308/Ma59/40
44	エンゲルス初期著作集 / [フリードリヒ・エンゲルス著]. -- 大月書店, 1973.2. -- (マルクス=エンゲルス全集 / [ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編集]; 大内兵衛, 細川嘉六監訳; 第41巻).		書籍	308/Ma59/41
45	憲法を考える / 憲法会議, 日本科学者会議共編. -- 水曜社, 1977.4.		書籍	323.14/Ke51
46	現代憲政の諸問題 / 鈴木安蔵著. -- 久保与吉, 1937.		書籍	312.1/Su96
47	日本国憲法: 運動のための解釈 / 鈴木安蔵著. -- 平和書房, 1968. -- (平和新書; 5).		書籍	323.14/Su96
48	憲法の歴史的研究 / 鈴木安蔵著. -- 大畑書店, 1933.6.		書籍	323.12/Su96
49	政治原理 / 今中次磨編集代表; 上, 下. -- 理論社, 1955.3-1955.4. -- (政治学講座 / 今中次磨 [ほか] 編集; 第1-2巻).	上	書籍	310.8/I-45/1
50	政治原理 / 今中次磨編集代表; 上, 下. -- 理論社, 1955.3-1955.4. -- (政治学講座 / 今中次磨 [ほか] 編集; 第1-2巻).	下	書籍	310.8/I-45/2
51	政治思想 / 今中次磨編集代表; 上, 下. -- 理論社, 1955. -- (政治学講座 / 今中次磨 [ほか] 編集; 第3-4巻).	上	書籍	310.8/I-45/3
52	政治思想 / 今中次磨編集代表; 上, 下. -- 理論社, 1955. -- (政治学講座 / 今中次磨 [ほか] 編集; 第3-4巻).	下	書籍	310.8/I-45/4
53	政治史 / 今中次磨編集代表; 上, 下. -- 理論社, 1955. -- (政治学講座 / 今中次磨 [ほか] 編集; 第5-6).	上	書籍	310.8/I-45/5
54	政治史 / 今中次磨編集代表; 上, 下. -- 理論社, 1955. -- (政治学講座 / 今中次磨 [ほか] 編集; 第5-6).	下	書籍	310.8/I-45/6
55	主体思想について: 全世界の労働者団結せよ!: 金日成主席誕生70周年記念主体思想全国セミナーに送った論文 / 金正日 [著]. -- 外国文出版社, 1982.		書籍	309.321/Ki38
56	比較憲法論 / L.ウルフ=フィリップス [著]; 清水望, 渡辺重範訳. -- 早稲田大学出版部, 1976. -- (現代政治学入門講座; 3).		書籍	323.01/W 84
57	民権論からナショナリズムへ 改裝版. -- 御茶の水書房, 1977.6. -- (明治史研究叢書 / 明治史料研究連絡会編; 第4集).	: 改裝版	書籍	210.6/Mi44

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
58	日本国憲法 / 宮沢俊義著; 芦部信喜補訂. -- 全訂版. -- 日本評論社, 1978.9.		書籍	323.14/Mi89
59	日本憲法学の生誕と発展: 憲法学の課題と方法の探求 / 鈴木安蔵著. -- 法律文化社, 1966.4. -- (学術選書).		書籍	323.01/Su96
60	加波山事件: 民権派激挙の記録 / 野島幾太郎著; 林基, 遠藤鎮雄編. -- 平凡社, 1966.11. -- (東洋文庫; 79).		書籍	210.635/N 93
61	日本政治の規準 / 鈴木安蔵著. -- 東洋経済新報社出版部, 1941.6.		書籍	323.13/Su96
62	憲法制定前後: 新憲法をめぐる激動期の記録 / 鈴木安蔵著. -- 青木書店, 1977.11. -- (青木現代叢書).		書籍	323.14/Su96
63	憲法学三十年 / 鈴木安蔵著. -- 評論社, 1967.12.		書籍	323.01/Su96
64	憲法改正問題入門 / 民法協憲法委員会編. -- 労働旬報社, 1965.5.		書籍	323.149/Su96
65	現代議会批判 / 鈴木安蔵著. -- 至誠堂, 1959.3.		書籍	314.1/Su96
66	基本的人権 / 鈴木安蔵著. -- 平和書房, 1969.12. -- (平和新書; 12).		書籍	323.143/Su96
67	基本的人権 / 鈴木安蔵著. -- 平和書房, 1969.12. -- (平和新書; 12).		書籍	323.143/Su96
68	基本的人権 / 鈴木安蔵著. -- 平和書房, 1969.12. -- (平和新書; 12).		書籍	323.143/Su96
69	近代日本政党史 / 鈴木安蔵著. -- 河出書房, 1954.2. -- (日本近代史叢書; 6).		書籍	315.1/Su96
70	近代日本政党史 / 鈴木安蔵著. -- 河出書房, 1954.2. -- (日本近代史叢書; 6).		書籍	315.1/Su96
71	基本的人権 / 鈴木安蔵著. -- 実教出版, 1951.8.		書籍	316.1/Su96
72	日本の大陸發展と共榮圏建設 / 鈴木安蔵著. -- 東亜書院, 1944.7.		書籍	210.7/Su96
73	政治学 / 鈴木安蔵著. -- 青林書院, 1955.5. -- (青林全書).		書籍	311/Su96
74	日本憲法史研究 / 鈴木安蔵著. -- 叢文閣, 1935.11.		書籍	323.12/Su96
75	史的唯物論と政治学 / 鈴木安蔵著. -- 新版. -- 勁草書房, 1953.		書籍	311/Su96
76	史的唯物論と政治学 / 鈴木安蔵著. -- 新版. -- 勁草書房, 1953.		書籍	311/Su96
77	史的唯物論と政治学 / 鈴木安蔵著. -- 新版. -- 勁草書房, 1953.		書籍	311/Su96
78	史的唯物論と政治学 / 鈴木安蔵著. -- 新版. -- 勁草書房, 1953.		書籍	311/Su96
79	史的唯物論と政治学 / 鈴木安蔵著. -- 新版. -- 勁草書房, 1953.		書籍	311/Su96
80	法学入門 / 鈴木安蔵著. -- 改訂新版. -- 評論社, [1969].		書籍	321/Su96
81	法学入門 / 鈴木安蔵著. -- 改訂新版. -- 評論社, [1969].		書籍	321/Su96
82	法学入門 / 鈴木安蔵著. -- 改訂新版. -- 評論社, [1969].		書籍	321/Su96
83	法学入門 / 鈴木安蔵著. -- 改訂新版. -- 評論社, [1969].		書籍	321/Su96
84	憲法学の構造 / 鈴木安蔵著. -- 成文堂, 1968.6.		書籍	323.01/Su96
85	憲法学の構造 / 鈴木安蔵著. -- 成文堂, 1968.6.		書籍	323.01/Su96
86	憲法学の構造 / 鈴木安蔵著. -- 成文堂, 1968.6.		書籍	323.01/Su96
87	憲法学の構造 / 鈴木安蔵著. -- 成文堂, 1968.6.		書籍	323.01/Su96
88	近代日本と民主主義 / 鈴木安蔵著. -- 新日本出版社, 1969.8. -- (新日本新書; 84).		書籍	311.21/Su96

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
89	近代日本と民主主義 / 鈴木安蔵著. -- 新日本出版社, 1969.8. -- (新日本新書; 84).		書籍	311.21/Su96
90	日本国憲法: 運動のための解釈 / 鈴木安蔵著. -- 平和書房, 1968. -- (平和新書; 5).		書籍	323.14/Su96
91	日本国憲法: 運動のための解釈 / 鈴木安蔵著. -- 平和書房, 1968. -- (平和新書; 5).		書籍	323.14/Su96
92	憲法学断想 / 鈴木安蔵著. -- 敬文堂, 1979.5.		書籍	323.01/Su96
93	憲法学断想 / 鈴木安蔵著. -- 敬文堂, 1979.5.		書籍	323.01/Su96
94	政治学原論 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1950.12.		書籍	311/Su96
95	政治学原論 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1950.12.		書籍	311/Su96
96	政治学原論 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1950.12.		書籍	311/Su96
97	政治学原論 / 鈴木安蔵著. -- 全訂. -- 勁草書房, 1962.		書籍	311/Su96
98	政治学原論 / 鈴木安蔵著. -- 全訂. -- 勁草書房, 1962.		書籍	311/Su96
99	政治学原論 / 鈴木安蔵著. -- 全訂. -- 勁草書房, 1962.		書籍	311/Su96
100	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 新版, 改訂版. -- 成文堂, 1976.3.		書籍	311/Su96
101	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 新版, 改訂版. -- 成文堂, 1976.3.		書籍	311/Su96
102	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 新版, 増補版. -- 成文堂, 1974.		書籍	311/Su96
103	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 新版, 増補版. -- 成文堂, 1974.		書籍	311/Su96
104	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 新版, 増補版. -- 成文堂, 1974.		書籍	311/Su96
105	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 北隆館, 1949.7.		書籍	311/Su96
106	憲法学原論: 憲法学および日本憲法の解明 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1956.10. -- (勁草全書).		書籍	323.01/Su96
107	憲法学原論: 憲法学および日本憲法の解明 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1956.10. -- (勁草全書).		書籍	323.01/Su96
108	憲法学原論: 憲法学および日本憲法の解明 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1956.10. -- (勁草全書).		書籍	323.01/Su96
109	憲法概論 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1953.2.		書籍	323.01/Su96
110	憲法概論 / 鈴木安蔵著. -- 2刷. -- 勁草書房, 1953.9.		書籍	323.01/Su96
111	憲法調査会総批判: 憲法改正問題の本質 / 有倉遼吉編者代表. -- 日本評論社, 1964.3.		書籍	323.149/A 71
112	憲法調査会総批判: 憲法改正問題の本質 / 有倉遼吉編者代表. -- 日本評論社, 1964.3.		書籍	323.149/A 71
113	憲法調査会総批判: 憲法改正問題の本質 / 有倉遼吉 [ほか] 編. -- 日本評論社, 1964.3.		書籍	323.149/A 71
114	現代福祉国家論批判 / 鈴木安蔵編. -- 法律文化社, 1967.2.		書籍	364/Su96
115	現代福祉国家論批判 / 鈴木安蔵編. -- 法律文化社, 1967.2. -- (学術選書).		書籍	364/Su96
116	日本憲法学の生誕と發展 / 鈴木安蔵著. -- 叢文閣, 1934.6.		書籍	323.01/Su96
117	日本歴史解禁 / 瀧川政次郎著. -- 創元社, 1950.12.		書籍	210/Ta71

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
118	古代史論争：日本の青銅器文化 / 森秀人著. -- 朝日新聞社, 1982.4. -- (朝日選書; 204).		書籍	210.3/Mo45
119	法学講義 / 法学教育研究会編. -- 成文堂, 1972.5.		書籍	321/H 81
120	憲法改正は是非か / 毎日新聞社論説室編. -- 毎日新聞社, 1956.4.		書籍	323.12/Ma31
121	憲法の原理と国家の論理 / 影山日出彌著. -- 勁草書房, 1971.4.		書籍	323.01/Ka18
122	日本の防衛と憲法 / 日本評論社編. -- 日本評論社, 1981. -- (法学セミナー増刊 総合特集シリーズ15). ※鈴木安蔵「地底に鳴動が聞こえる」(202~205頁)所収。		雑誌	392.1/N 71
123	政府の憲法解釈 / 山内一夫著. -- 有信堂, 1965.4.		書籍	323.14/Y 39
124	イギリス地方自治制度論 / 後藤一郎著. -- 成文堂, 1972.1.		書籍	318.933/G 72
125	民主権と天皇制 / 針生誠吉, 横田耕一著. -- 法律文化社, 1983.2. -- (現代憲法大系 / 小林直樹監修; 1).		書籍	323.14/G 34/1
126	自由民権の系譜：土佐派の場合 / 平尾道雄著. -- 高知市民図書館, 1970.6.		書籍	210.63/H 67
127	国家と法の理論 / ソ同盟科学アカデミー法研究所編; 藤田勇訳; 上巻, 下巻. -- 巖松堂書店, 1954. -- (ソヴェト法律学体系; 第1).	上巻	書籍	322.98/So91/1(1)
128	国家と法の理論 / ソ同盟科学アカデミー法研究所編; 藤田勇訳; 上巻, 下巻. -- 巖松堂書店, 1954. -- (ソヴェト法律学体系; 第1).	下巻	書籍	322.98/So91/1(2)
129	日本国憲法概論 / 鈴木安蔵著. -- 再版. -- 評論社, 1966.5.		書籍	323.14/Su96
130	日本国憲法概論 / 鈴木安蔵著. -- 評論社, 1962.2.		書籍	323.14/Su96
131	日本国憲法概論 / 鈴木安蔵著. -- 評論社, 1962.2.		書籍	323.14/Su96
132	憲法講義案 / 鈴木安蔵著; [第1分冊], 第2分冊. -- [出版者不明], [1952.4].	[第1分冊]	冊子	323.01/Su96/1
133	憲法講義案 / 鈴木安蔵著; [第1分冊], 第2分冊. -- [出版者不明], [1952.4].	第2分冊	冊子	323.01/Su96/2
134	憲法講義案 / 鈴木安蔵著; [第1分冊], 第2分冊. -- [出版者不明], [1952.4].	第2分冊	冊子	323.01/Su96/2
135	地方自治と住民の権利 / 吉田善明著. -- 三省堂, 1982.3.		書籍	318.13/Y 86
136	史的唯物論 / プハーリン著; 佐野勝隆, 石川晃弘訳. -- 青木書店, 1974.7. -- (現代社会学大系 / 日高六郎 [ほか] 編; 7).		書籍	361.08/G 34/7
137	プロレタリア科学：プロレタリア科学研究所機関誌; 1:1929.11-12 - 別巻. -- 法政大学出版局, 1979-1986. -- (日本社会運動史料 / 法政大学大原社会問題研究所編; 機関紙誌篇).	1:1929.11-12	書籍	309.3/P 97/1
138	新訂世界各国の憲法典 / 大石義雄編. -- 新訂版. -- 有信堂, 1959.11.		書籍	323/O-33
139	抵抗権と革命：その法理 / K.F.ベルトラム [著]; 西浦公訳. -- 御茶の水書房, 1980.10.		書籍	323/B 38
140	国法学：憲法学の基礎理論 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1960. -- (勁草全書).		書籍	323.01/Su96
141	憲法 / 鈴木安蔵著. -- 評論社, 1953.10. -- (新法学全書; 2).		書籍	323.01/Su96
142	基本的人権と公共の福祉 / 末川博著. -- 法律文化社, 1951.9. -- (新文化選書; 3).		書籍	316.1/Su16

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
143	民主憲法の構想 / 鈴木安蔵著. -- 光文社, 1946.4. -- (光文新書; 3).		書籍	323.14/Su96
144	憲法と民主主義 / 鈴木安蔵著. -- 光文社, 1946.4. -- (光文新書; 2).		書籍	323.01/Su96
145	イギリスの国家構造 / J・ハーヴェイ, K・フッド著; 北西允訳. -- 合同出版社, 1960.1.		書籍	312.33/H 34
146	資本主義の最高段階としての帝国主義 / N.Lenin著; 和田哲二譯. -- 希望閣, 1930.12.		書籍	333.9/L 54
147	史論集 / M.N.ボクローフスキー著; 吳雅之訳. -- 希望閣, 1931.5.		書籍	238/P 76
148	資本の力と国家の理論 / 唐渡興宣著. -- 青木書店, 1980.10.		書籍	331.6/Ka63
149	裁判自由民権時代 / 森長英三郎著. -- 日本評論社, 1979.8. -- (日評選書).		書籍	210.63/Mo57
150	学問の自由と教育権 / 鈴木安蔵, 星野安三郎編. -- 成文堂, 1969.9.		書籍	373.2/Su96
151	現代憲法の問題状況 / 吉田善明著. -- 評論社, 1972. -- (評論社選書).		書籍	323.14/Y 86
152	憲法研究入門 / 小林孝輔, 和田英夫著作. -- 酒井書店, 1957.8.		書籍	323.01/Ke51
153	新憲法講話 / 憲法普及会編纂. -- 政界通信社, 1947.9.		書籍	323.14/Ke51
154	憲法改正 / 宮沢俊義 [ほか] 著. -- 有斐閣, 1956.5. -- (ジュリスト選書).		書籍	323.149/Mi89
155	核時代のなかの安保体制 / 渡辺洋三, 大江志乃夫編著. -- 労働旬報社, 1981.9. -- (労働教養選書).		書籍	319.8/W 46
156	明治初年の立憲思想 / 鈴木安蔵著. -- 育生社, 1938.9. -- (日本政治・経済研究叢書; 11).		書籍	323.12/Su96
157	理論政治学 / 岩崎卯一著. -- 関西大学出版部, 1957.12.		書籍	311/Y 96
158	マルクス主義と人類社会の起源 / プロムレイ [ほか] 編; 中島寿雄訳. -- 大月書店, 1974.		書籍	389/B 93
159	モンテスキュー・法の精神 / 宮沢俊義著. -- 岩波書店, 1936.10. -- (大思想文庫; 13).		書籍	321.1/Mi89
160	日本政治の規準 / 鈴木安蔵著. -- 東洋経済新報社出版部, 1941.6.		書籍	323/Su96
161	比較憲法史 / 鈴木安蔵 [著]. -- 勁草書房, 1951.12. -- (勁草全書).		書籍	323.01/Su96
162	比較憲法史 / 鈴木安蔵 [著]. -- 勁草書房, 1951.12. -- (勁草全書).		書籍	323.01/Su96
163	比較政治学の新動向 / バーナード.E.ブラウン著; 内山秀夫訳. -- 慶応通信, 1967.4.		書籍	311/B 77
164	刑事訴訟法の歴史的分析 / 小田中聡樹著. -- 日本評論社, 1976.1.		書籍	327.6/O-17
165	政治権力の諸問題: 小岩井浄教授還暦記念論文集 / 今中次麿 [ほか] 編. -- 合同出版社, 1958.3.		書籍	310.4/I-45
166	比較憲法史 / 鈴木安蔵著. -- 三笠書房, 1936.4. -- (唯物論全書).		書籍	323.02/Su96
167	自由民権運動史 / 鈴木安蔵編. -- 光文社, 1947.		書籍	210.6/Su96
168	マルクス=エンゲルス国家と法 / 平野義太郎編. -- 大月書店, 1970.10.		書籍	309.3/Ma59
169	静岡大学十年史 / 静岡大学十年史編集委員会編. -- 静岡大学, 1962.3.		書籍	377.28/Sh94
170	政治・文化の新理念 / 鈴木安蔵著. -- 利根書房, 1942.10.		書籍	311.21/Su96
171	英国憲法史 / F.W.メートランド著; 高田勇道訳. -- 明玄書房, 1954.3.		書籍	323.33/Ma31
172	現代議会制の憲法構造 / 清水睦著. -- 勁草書房, 1979.4.		書籍	313.7/Sh49

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
173	自由党史 / [自由党史編纂局編]; 遠山茂樹, 佐藤誠朗校訂; 上, 中, 下. -- 岩波書店, 1957.3-1958.12. -- (岩波文庫; 青-補-33, 白-147-149, 5695-5697, 5698-5701, 5702-5703b, 青(33)-105-1-3).	上	書籍	315.1/J 55/1
174	自由党史 / [自由党史編纂局編]; 遠山茂樹, 佐藤誠朗校訂; 上, 中, 下. -- 岩波書店, 1957.3-1958.12. -- (岩波文庫; 青-補-33, 白-147-149, 5695-5697, 5698-5701, 5702-5703b, 青(33)-105-1-3).	中	書籍	315.1/J 55/2
175	自由党史 / [自由党史編纂局編]; 遠山茂樹, 佐藤誠朗校訂; 上, 中, 下. -- 岩波書店, 1957.3-1958.12. -- (岩波文庫; 青-補-33, 白-147-149, 5695-5697, 5698-5701, 5702-5703b, 青(33)-105-1-3).	下	書籍	315.1/J 55/3
176	薄幸の無名戦士: 熊谷孝雄の生涯 / 竹内道夫編集. -- 熊谷勇, 1983.3.		書籍	289.1/Ku33
177	永遠の真理・自由・平等の批判 / 平野義太郎編著. -- 研進社, 1949.3.		書籍	309.3/H 66
178	共産党宣言: 付 十二か国宣言 六十四か国宣言 / マルクス, エンゲルス [著]; 塩田庄兵衛訳. -- 角川書店, 1959.12. -- (角川文庫; 1897).		書籍	309.3/Ma59
179	民主主義革命に於ける二つの戦術 / レーニン著; 河野重弘訳. -- 解放社, 1946.6. -- (解放叢書; 第3).		書籍	309.3/L 54
180	食糧税について (新しい政策の意義とその諸条件): 他20篇. -- 社会書房, 1952. -- (レーニン二巻選集 / レーニン二巻選集刊行会編; 第2巻 第13分冊).		書籍	309.3/Sh95
181	日本の国家構造 / 鈴木安蔵編. -- 勁草書房, 1957.3. -- (政治学研究叢書; 9).		書籍	323.14/Su96
182	現代議会批判 / 鈴木安蔵著. -- 至誠堂, 1959.3.		書籍	314.1/Su96
183	時事論文; 1954年版, 1955年版. -- 大蔵出版, 1953-1954. -- (経営評論; 臨時増刊).	1954年版	書籍	307/J 49/1954
184	討論: 理論と実際 / 朝日新聞社企画部編. -- 中央社, 1948.		書籍	809.6/A 82
185	憲法改正は是非か / 毎日新聞社論説室編. -- 毎日新聞社, 1956.4.		書籍	323.12/Ma31
186	政治学の基礎知識 / 鈴木安蔵著. -- 世界評論社, 1949.11. -- (新しい知識講座; 2).		書籍	311/Su96
187	憲法解釈資料: 大日本帝国憲法発布当時の一般憲法思想を窺ふべき逐條憲法解釈文献 / 明治政治史研究会編纂. -- ナウカ社, 1936.		書籍	323.13/Me25
188	ハロルド・ラスキ研究 / 横越英一 [ほか] 著; 鈴木安蔵編. -- 勁草書房, 1954.4. -- (政治学研究叢書; 1).		書籍	311.23/Y 74
189	ハロルド・ラスキ研究 / 横越英一 [ほか] 著; 鈴木安蔵編. -- 第2刷. -- 勁草書房, 1968. -- (政治学研究叢書; 1).		書籍	311.23/Y 74
190	比較憲法史 / 鈴木安蔵著. -- 三笠書房, 1936.4. -- (唯物論全書).		書籍	323.02/Su96
191	ソヴェト制の研究 / 鈴木安蔵編著; 中村義知 [ほか] 著. -- 勁草書房, 1956.2. -- (政治学研究叢書; 7).		書籍	312.38/Su96
192	ソヴェト制の研究 / 鈴木安蔵編著; 中村義知 [ほか] 著. -- 勁草書房, 1956.2. -- (政治学研究叢書; 7).		書籍	312.38/Su96
193	史的唯物論の研究: 生産力・階級・法・道徳 / 鈴木安蔵著. -- 実業之日本社, 1948.		書籍	309.301/Su96
194	日本国憲法: 私はこう考える. -- 朝日新聞社, 1964.10.		書籍	323.14/N 71
195	明治権力の法的構造 / 明治史料研究連絡会編; 新装版. -- 御茶の水書房, 1966.12. -- (明治史研究叢書 / 明治史料研究連絡会編; 7).	新装版	書籍	210.6/Me25

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
196	憲法改正と憲法擁護 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1955.12.		書籍	323.149/Su96
197	国家論 / 志賀義雄著. -- ナウカ社, 1949.6. -- (ナウカ講座 ; 10).		書籍	313.1/Sh27
198	社会思想の旅 / 大塚金之助著 ; 1, 2. -- 岩波書店, 1980-1981. -- (大塚金之助著作集 ; 第7-8巻).	2	書籍	331.6/O-88/8
199	マルクス主義法理論の展開 / 松下輝雄著. -- 神戸大学研究双書刊行会, 1981.8. -- (神戸法学双書 ; 15).		書籍	321/Ma88
200	マルクス主義古典研究 / 伊藤護也 [ほか] 執筆. -- 日本評論社, 1977.10. -- (マルクス主義法学講座 / 天野和夫 [ほか] 編集 ; 8).		書籍	320.8/Ma54/8
201	エンゲルス・農業プロレタリアート. -- 文化評論社, 1948. -- (マルクス・エンゲルス農業問題集 ; 第2).		書籍	611/E 61
202	憲法制定とロエスレル : 日本憲法諸原案の起草経緯と其の根本精神 / 鈴木安蔵著. -- 東洋経済新報社, 1942.1.		書籍	323.12/Su96
203	マルクス紀行 / 小島恒久著. -- 法律文化社, 1965.6. -- (新文化選書).		書籍	293.09/Ko39
204	日本憲法史研究 / 鈴木安蔵著. -- 叢文閣, 1935.11.		書籍	323.12/Su96
205	近代日本の政党と議会 / 鈴木安蔵, 吉場強共著. -- 労働文化社, 1948.6.		書籍	312.1/Su96
206	日本憲法史概説 / 鈴木安蔵著. -- 中央公論社, 1941.5.		書籍	323.12/Su96
207	人民 : 歌集 / 大塚金之助著. -- 新評論, 1979.5.		書籍	911.168/O-88
208	無産階級革命とその綱領 / カール・カウツキ著 ; 高橋正男訳. -- 金星堂, 1927.		書籍	309.4/Ka89
209	戦争と社会主義 / レーニン [著] ; 佐野文夫譯. -- レーニン著作集刊行会, 1926.6. -- (レーニン著作集 ; 第3巻).		書籍	309.3/L 54
210	憲法論集 : 大衆行動・国会・憲法改正 / 鈴木安蔵著. -- 評論社, 1963.6.		書籍	323.14/Su96
211	資本主義的生産に先行する諸形態 / カール・マルクス著 ; 手島正毅訳. -- 大月書店, 1959.1.		書籍	331.6/Ma59
212	新憲法講話 : 附日本国憲法 / 鈴木安蔵著. -- 北海道新聞社, 1947.7.		書籍	323.14/Su96
213	唯物史観 / マルクス, エンゲルス原著 ; 向坂逸郎, 岡崎次郎編訳. -- 大月書店, 1948.1. -- (唯物論新書 ; 2).		書籍	309.301/Ma59
214	憲法研究 / 鈴木安蔵著. -- 酒井書店, 1956.10.		書籍	323.14/Su96
215	憲法改正に関する諸論輯録. -- 貴族院事務局調査部, 1946.		書籍	323.149/Ke51
216	日本の民主主義 / 鈴木安蔵著. -- 革新社, 1947.1. -- (民主主義講座 ; 6).		書籍	311.7/Su96
217	自由民権 / 鈴木安蔵著. -- 私製).		冊子	312.1/Su96
218	政治・文化の新理念 / 鈴木安蔵著. -- 利根書房, 1942.10.		書籍	311.21/Su96
219	政治・文化の新理念 / 鈴木安蔵著. -- 利根書房, 1942.10.		書籍	311.21/Su96
220	日本憲法史研究 / 鈴木安蔵著. -- 叢文閣, 1935.11.		書籍	323.12/Su96
221	モールと将軍 / ドイツ社会主義統一党中央委員会付属マルクス=レーニン主義研究所編 ; 栗原佑訳. -- 大月書店, 1976.3.		書籍	289.3/Ma59
222	日本憲政成立史 / 鈴木安蔵著. -- 学芸社, 1933.12.		書籍	323.12/Su96
223	現代憲政の諸問題 / 鈴木安蔵著. -- 久保與吉, 1937.		書籍	312.1/Su96
224	日本の国家構造 / 鈴木安蔵編. -- 勁草書房, 1957.3. -- (政治学研究叢書 ; 9).		書籍	323.14/Su96

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
225	基本的人権の研究 / 鈴木安蔵 [ほか] 編. -- 勁草書房, 1954.6. -- (政治学研究叢書; 3).		書籍	323.143/Su96
226	政治学入門 / 鈴木安蔵著. -- 新版. -- 室町書房, 1953.		書籍	311/Su96
227	憲法改正と憲法擁護 / 鈴木安蔵著. -- 勁草書房, 1955.12.		書籍	323.149/Su59
228	政治と生活 / 鈴木安蔵著. -- 岩崎書店, 1952.3. -- (社会科全書; 4).		書籍	375.3/Su96
229	政治と生活 / 鈴木安蔵著. -- 岩崎書店, 1952.3. -- (社会科全書; 4).		書籍	375.3/Su96
230	日本の憲法 / 鈴木安蔵著. -- 政治教育協会, 1947.12. -- (国民大学文庫; 14).		書籍	323.14/Su96
231	政党論: 政党と国民的政治組織 / 鈴木安蔵著. -- 日本評論社, 1943.4. -- (政治全書; 第5).		書籍	315/Su96
232	憲法と自由民権 / 鈴木安蔵著. -- 永美書房, 1946.7.		書籍	323.12/Su96
233	憲法を考える / 憲法会議, 日本科学者会議共編. -- 水曜社, 1977.4.		書籍	323.14/Ke51
234	政治学研究 / 政治学研究会編; 第1集, 第2集, 第3集. -- 実業之日本社, 1948-1949.	第3集	書籍	311/Se17/3
235	新憲法の解説と批判 / 鈴木安蔵著. -- 新文藝社, 1947.4.		書籍	323.14/Su96
236	憲法と自由民権 / 鈴木安蔵著. -- 永美書房, 1946.7.		書籍	232.12/Su96
237	言論弾圧史 / 日本ジャーナリスト連盟編. -- 銀杏書房, 1949. -- (ジャーナリズム叢書; 第2).		書籍	316.1/N 71
238	朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法 / 福島正夫著. -- 日本評論社, 1974.4.		書籍	323.21/F 84
239	チュチェ思想の旗を高くかかげ社会主義建設をさらに促進しよう / 金日成著. -- 外国文出版社, 1978.		書籍	309.321/Ki41
240	朝鮮民主主義人民共和国土地法. -- 在日本朝鮮人総聯合会中央常任委員会, 1977.9.		書籍	334.6/C 54
241	日本農村の階級区分: その原則と方法の正しい確立のための理論的ならびに実態的, 統計的研究 / 福本和夫著. -- 理論社, 1952.10.		書籍	612.1/F 77
242	マルクス歴史・社会・国家学説 / ハインリッヒ・クノウ著; 河野密訳. -- 平凡社, 1928.7. -- (社会思想全集; 第22巻).		書籍	309.3/C 95
243	カールとローザ: ドイツ革命の断章 / クララ・ツェトキン他著; 栗原佑訳. -- 大月書店, 1975. -- (国民文庫; 441).		書籍	289.3/L 62
244	フリードリヒ・エンゲルス / 高山洋吉譯. -- 青木書店, 1953. -- (青木文庫; 116).		書籍	289.3/E 61
245	官吏制度の研究 / 鈴木安蔵編. -- 同友社, 1948.3.		書籍	317.3/Su96
246	ドイツ史 / フランツ・メエリング著; 栗原佑訳. -- 改造社, 1936.8. -- (改造文庫; 第1部 第97篇).		書籍	234/Me21
247	カール・マルクス / H.J. ラスキ著; 服部辨之助訳. -- 角川書店, 1957.6. -- (角川文庫; 1577).		書籍	289.3/Ma59
248	合法的マルクス主義との闘争 / レーニン著, 落合文雄訳. -- 白楊社, 1930.		書籍	309.338/L 56
249	ホームズ・ラスキ往復書簡集 / M.D. ハウ編; 鶴飼信成訳. -- 岩波書店, 1981.12. -- (岩波現代選書; 67).		書籍	289.3/H 83

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
250	言論自由論；勃爾等ヲ殺ス / 植木枝盛 [著]；鈴木安蔵解題. -- 實業之日本社, 1948.7. -- (近代日本文化叢書).		書籍	309.1/U 39
251	自由民権運動 / 明治史料研究連絡会編. -- 御茶の水書房, 1956.9. -- (明治史研究叢書 / 明治史料研究連絡会編；第3巻).		書籍	210.63/Me25
252	迫り来る大破綻：如何にしてこれと闘ふべきか / Nikolai Lenin 著；服部麥生訳. -- イスカラ社, 1946.10. -- (イスカラ叢書；2).		書籍	309.3/L 54
253	共産主義の「左翼」小児病 / レーニン著；園部四郎訳. -- 人民社, 1946.9.		書籍	309.3/L 54
254	資本制生産に先行する諸形態 / カール・マルクス著；岡崎次郎訳. -- 青木書店, 1959.3. -- (青木文庫；313).		書籍	331.6/Ma59
255	国家と革命：解説 / デニソフ著；知識文庫刊行会訳. -- 岩崎書店, 1952.12. -- (知識文庫；2).		書籍	316.5/D 57
256	マルクス主義の鏡に映じたるトルストイ / レーニン, プレハーノフ [著]；国分孝 [訳]. -- 希望閣, 1931.5.		書籍	980.28/L 54
257	留守日記：冬の時代に耐えた妻の記録 / 河上秀著. -- 筑摩書房, 1967.2.		書籍	915.6/Ka94
258	史的唯物論 / コムアカデミア哲学研究所共著；廣島定吉, 直井武夫譯. -- 合冊普及版. -- ナウカ社, 1934.5.		書籍	309.301/Ko68
259	自由民権運動史 / 鈴木安蔵編. -- 光文社, 1947.		書籍	210.6/Su96
260	日本の憲法 / 鈴木安蔵著. -- 政治教育協会, 1947.12. -- (国民大学文庫；14).		書籍	323.14/Su96
261	憲法改正：日本国憲法を中心とする考察 / 鈴木安蔵著. -- 如水書房, 1953.6.		書籍	323.149/Su96
262	憲法改正：日本国憲法を中心とする考察 / 鈴木安蔵著. -- 如水書房, 1953.6.		書籍	323.149/Su96
263	憲法改正：日本国憲法を中心とする考察 / 鈴木安蔵著. -- 如水書房, 1953.6.		書籍	323.149/Su96
264	民主主義十二講 / 日本放送協会編. -- 日本放送出版協会, 1946.11.		書籍	311.7/N 71
265	民主主義十二講 / 日本放送協会編. -- 日本放送出版協会, 1946.11.		書籍	311.7/N 71
266	憲法改正の基本問題 / 鈴木安蔵 [ほか] 著. -- 勁草書房, 1956.1. -- (政治学研究叢書；6).		書籍	323.149/Su96
267	憲法講義案 / 鈴木安蔵著；[第1分冊], 第2分冊. -- [出版者不明], [1952.4].	[第1分冊]	冊子	323.01/Su96/1
268	新労働党提唱の反動性 / 労働同盟編. -- 労働同盟, 1929.9.		書籍	315.1/R 66
269	憲法改正案ノ諸規定ニ關スル外国立法例；第1輯, 第2輯. -- 法制局, 1946.4..	第1輯	冊子	321.9/Ke51/1
270	ゴータ綱領批判 / カール・マルクス原著；水谷長三郎訳. -- 圭文社, 1946.10.		書籍	309.3/Ma59
271	マルクス主義経済学教程 / イ・ラビドウス, カ・オストロヴィチャノフ共著；橋本弘毅訳. -- 白揚社出版, 1932.		書籍	331.6/L 31
272	Universal fascism : the theory and practice of the fascist international, 1928-1936. -- H. Fertig, 1972.		書籍	311.9/U 75

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
273	On the draft Constitution of the U.S.S.R. / J. Stalin . Constitution (fundamental law) of the Union of Soviet Socialist Republics. -- Foreign Languages Publishing House, 1945.		書籍	323.38/St 1
274	The meaning of Marxism / by G.D.H. Cole. -- University of Michigan Press, 1964. -- (Ann Arbor paperbacks for the study of communism and Marxism).		書籍	309.3/C 84
275	Mary Wollstonecraft : a sketch / by H.R. James. -- Haskell House, 1971.		書籍	289.3/W 85
276	Herrn Eugen Dührings Umwälzung der Wissenschaft : ("Anti-Dühring") / Friedrich Engels. -- Dietz, c1948. -- (Bücherei des Marxismus-Leninismus ; Bd. 3).		書籍	309.331/E 61
277	Socialism and war (the attitude of the R.S.D.L.P. towards the war) / V.I. Lenin. -- [2nd ed.]. -- Foreign Languages Publishing House, 1950. -- (Library of Marxist-Leninist classics).		書籍	313.9/L 54
278	Historical materialism : a system of sociology / by Nikolai Bukharin. -- Russell & Russell, 1965.		書籍	309.3/B 87
279	Marx's theory of politics / John M. Maguire. -- Cambridge University Press, 1978.		書籍	311.9/Ma29
280	The English revolution : an introduction to English history, 1603-1714 / by I. Deane Jones. -- Heinemann, 1931.		書籍	233.052/J 72
281	Materialism and empirio-criticism : critical comments on a reactionary philosophy / V.I. Lenin. -- Foreign Languages Publishing House, 1952.		書籍	309.3/L 54
282	Comparing political systems : power and policy in three worlds / Gary K. Bertsch, Robert P. Clark, David M. Wood. -- Wiley, c1978.		書籍	313/B 38
283	Political parties and political behavior / edited by William J. Crotty, Donald M. Freeman [and] Douglas S. Gatlin. -- 2d ed. -- Allyn and Bacon, [c1971].		書籍	315/C 93
284	European political systems / edited by Taylor Cole. -- A.A. Knopf, 1953.		書籍	312.3/C 84
285	Thought control in prewar Japan / Richard H. Mitchell. -- Cornell University Press, 1976.		書籍	326.81/Mi59
286	Deutsche Geschichte vom Ausgange des Mittelalters : ein Leitfaden für Lehrende und Lernende / Franz Mehring. -- Dietz, 1952. -- (Bücherei des Marxismus-Leninismus ; Bd. 19).		書籍	324.04/Me21
287	Economic and philosophic manuscripts of 1844 / Karl Marx. -- Foreign Languages Publishing House, 1961.		書籍	331.6/Ma59
288	Elements of political knowledge / translated from the Russian by David Myshne ; edited by Kethrine Costello. -- Progress, 1970.		書籍	311/C 88
289	Die Verfassungsgerichtsbarkeit in der Bundesrepublik Deutschland / von Ernst Friesenhahn. -- Carl Heymann, 1963.		書籍	323.34/F 47
290	Zur Kritik der politischen Ökonomie / Karl Marx ; Heft 1. -- Volksausgabe, 3. Aufl. -- Dietz, 1958. -- (Bücherei des Marxismus-Leninismus ; Bd. 15).	Heft 1	書籍	331.6/Ma59

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
291	Kritik des Gothaer Programms : mit Schriften und Briefen von Marx, Engels und Lenin zu den Programmen der deutschen Sozialdemokratie / Karl Marx. -- 4. verb. Aufl. -- Dietz, 1964. -- (Bücherei des Marxismus-Leninismus ; Bd. 20).		書籍	309.3/Ma59
292	Enthüllungen über den Kommunistenprozess zu Köln : mit einleitung von Friedrich Engels und Dokumenten / Karl Marx. -- 2. Verb. Aufl.. -- Dietz, 1965. -- (Bücherei des Marxismus-Leninismus).		書籍	311.9/Ma59
293	Die französische bürgerliche Revolution von 1789 im Frühwerk von Karl Marx (1843-1846) : geschichtsmethodolog. Studien / Hans-Peter Jaeck. -- Akademie-Verlag, 1979.		書籍	235.06/J 13
294	Grundriss der Soziologie / Ludwig Gumplowicz. -- 2. durchgesehene und verm. Aufl. -- Manz, 1905.		書籍	361/G 93
295	The state and revolution : Marxist teaching on the state and the task of the proletariat in the revolution / by V.I. Lenin. -- Foreign Languages Press, 1965.		書籍	309.3/L 54
296	Marx Engels Verzeichnis : Werke, Schriften, Artikel / [zusammengestellt und bearbeitet von Manfred Kliem, Horst Merbach und Richard Sperl]. -- 2., erg. Aufl. -- Dietz, 1968.		書籍	331.6/Ma59
297	Der Cirkulationsprocess des Kapitals / von Karl Marx ; herausgegeben von Friedrich Engels. -- 7. Aufl. -- Otto Meissner, 1922. -- (Das Kapital : Kritik der politischen Ökonomie / von Karl Marx ; Bd. 2, Buch 2).		書籍	331.6/Ma59
298	Japan's emergence as a modern state : political and economic problems of the Meiji period / by E. Herbert Norman. -- International Secretariat, Institute of Pacific Relations, 1940. -- (I.P.R. inquiry series).		書籍	210.6/N 96
299	Anarchism and socialism / by George Plechanoff ; translated with the permission of the author by Eleanor Marx Aveling ; with an introduction by Robert Rives La Monte. -- C.H. Kerr, [1895].		書籍	309.7/P 72
300	The origin of the family, private property, and the state / by Frederick Engels ; translated by Ernest Untermann. -- C.H. Kerr, c1902.		書籍	389/E 61
301	Staat und Revolution : die Lehre des Marxismus vom Staat und die Aufgaben des Proletariats in der Revolution / W.I. Lenin. -- 3. Aufl. -- Dietz, 1951, c1948. -- (Bücherei des Marxismus-Leninismus ; Bd. 17).		書籍	238.07/L 54
302	Der deutsche Bauernkrieg / von Friedrich Engels ; herausgegeben von Hermann Duncker. -- Vereinigung Internationaler Verlagsanstalten, 1925. -- (Elementarbücher des Kommunismus ; Bd. 8).		書籍	234.05/E 61
303	Materialismus und Empirio-kritizismus : kritische Bemerkungen über eine reaktionäre Philosophie / W.I. Lenin. -- Verlag für Literatur und Politik, c1927. -- (Sämtliche Werke / W.I. Lenin ; Bd. 13).		書籍	138/L 54

整理番号	簡易表示書誌	VOL	形状	請求番号
304	Der achtzehnte Brumaire des Louis Bonaparte / Karl Marx. -- Neue erg. Ausg. / mit einem Vorwort von F. Engels ; herausgegeben und eingeleitet von D. Rjazanov. -- Verlag für Literatur und Politik, c1927. -- (Marxistische Bibliothek : Werke des Marxismus-Leninismus ; Bd. 7).		書籍	235.066/Ma59
305	Formen, die der kapitalistischen Produktion vorhergehen : die Analyse jenes "Prozesses, der der Bildung des Kapitalverhältnisses oder der ursprünglichen Akkumulation vorhergeht" / Karl Marx ; besorgt vom Marx-Engels-Lenin-Institut beim ZK der SED. -- Dietz, 1952. -- (Kleine Bücherei des Marxismus-Leninismus).		書籍	331.6/Ma59
306	The eighteenth Brumaire of Louis Bonaparte / Karl Marx. -- Foreign Languages Publishing House, [19 - -].		書籍	235.066/Ma59
307	Karl Marx ; Anhang: Beiträge zum Marxismus (aus Artikeln und Schriften Lenins) / W.I. Lenin ; herausgegeben von Hermann Duncker. -- Verlag für Literatur und Politik, c1931. -- (Kleine Lenin-Bibliothek ; Bd. 1).		書籍	309.3/Ma59
308	Was sind die "Volksfreunde" und wie kämpfen sie gegen die Sozialdemokraten? : Antwort auf die gegen die Marxistengerichteten Artikel des "Russkoje Bogatstwo" / W. I. Lenin. -- Verlag für Fremdsprachige Literatur, 1946.		書籍	309.3/L 54
309	Revolution and counter-revolution, or, Germany in 1848 / Karl Marx ; edited by Eleanor Marx Aveling. -- G. Allen and Unwin, 1891.		書籍	234.062/Ma59
310	Aus dem literarischen Nachlass von Karl Marx und Friedrich Engels 1841 bis 1850 / herausgegeben von Franz Mehring ; Bd. 1, Bd. 2, Bd. 3. -- 4. Aufl. -- J. H. W. Dietz Nachf., 1923.	Bd. 1	書籍	309.3/Ma59/1
311	Aus dem literarischen Nachlass von Karl Marx und Friedrich Engels 1841 bis 1850 / herausgegeben von Franz Mehring ; Bd. 1, Bd. 2, Bd. 3. -- 4. Aufl. -- J. H. W. Dietz Nachf., 1923.	Bd. 2	書籍	309.3/Ma59/2
312	Ludwig Feuerbach und der Ausgang der klassischen deutschen Philosophie : mit einem Anhang : Quellenmaterial zum Marx-Engels'schen Materialismus / Friedrich Engels ; herausgegeben und mit Vorwort und Anmerkungen versehen von H. Duncker. -- Verlag für Literatur und Politik, c1927. -- (Marxistische Bibliothek : Werke des Marxismus-Leninismus ; Bd. 3).		書籍	134.53/E 61
313	The social contract & discourses / by Jean Jacques Rousseau ; translated with an introduction by G.D.H. Cole. -- J.M. Dent, 1913. -- (Everyman's library ; no. 660 . Philosophy & theology).		書籍	311/R 76
314	Rede über die Revolution von 1905 / Wladimir Iljitsch Lenin. -- Verlag für Literatur und Politik, c1925.		書籍	238/L 54
315	Rosa Luxemburg BRIEFE an Karl und Luise Kautsky (1896-1918) / Rosa Luxemburg ; herausgegeben von Luise Kautsky. -- E. Laub'sche Verlagsbuchhandlung GmbH., 1923.		書籍	331.6/L 97

(2022年11月28日受理、2023年1月5日採択)